

子どもの読書活動に関するアンケート調査

2010

南アルプス市子どもの読書活動推進協議会

★調査概要

この調査は、平成16年度「子どもの読書活動推進事業」の一環として行なった『学校調査 2004』に引き続き実施した。これは子どもの読書活動推進協議会において、前回の調査結果と比較し、市内の子どもの読書活動や読書環境の現状を把握するとともに、子どもの読書活動に影響を与える要因を明らかにすることを目的としている。

この調査の分析結果は、学校図書館や保育所、幼稚園、児童館等子どもの読書に関わる施設と公共図書館が連携して、子どもの読書環境づくりを地域ぐるみで推進するための参考とする。また、平成19年3月に策定した『ひろげよう子どものせかい—南アルプス市子ども読書活動推進計画—』に沿って、本市の子どもの読書活動の推進を図っているが、その見直しのためにも反映していく。

子どもたちが生涯にわたる読書習慣を身につけ、子ども自身が読書の楽しさを知り、心豊かに成長できる一助となるよう活用していきたい。

★調査方法

- ・児童生徒用…学校で学級ごとに担任が立ち会って一斉に実施
- ・保護者用…保育所及び学校から調査用紙を家庭に持ち帰り、保護者が回答し、保育所及び学校に提出
保育所及び学校は、公共図書館で回収
- ・施設用（小中学校）…用紙で依頼
- ・施設用（保育所・幼稚園・児童館）…用紙で依頼、公共図書館で回収

★調査期間

平成22年7月1日から31日までの一ヶ月間とした。

★調査対象

①児童生徒用

小学校 4. 5. 6年生

中学校 2年生

- ・小学校は、学年1クラス以上を調査対象とする。
- ・中学校は、全クラスを調査対象とする。

②保護者用

3歳児、小学校1. 4年生、中学校2年生

- ・学年1クラスを調査対象とする。

③施設用（小中学校）

④施設用（保育所・幼稚園・児童館）

回答状況①②

	小学校	中学校	3歳児保護者	小1保護者	小4保護者	中2保護者
調査数	2,107人	775人	594人	594人	477人	334人
回答者数	2,051人	732人	529人	529人	429人	270人
回答率	97%	94%	89%	89%	90%	81%

回答状況③④

	小学校	中学校	保育所	幼稚園	児童館
調査数	15校	7校	20ヶ所	2ヶ所	5ヶ所

目 次

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	小学校	1
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	中学校	11
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	3歳児保護者	20
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	小1保護者	26
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	小4保護者	33
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	中2保護者	40
市内読書施設に関するアンケート調査（保育所・幼稚園）		46
市内読書施設に関するアンケート調査（小学校）		51
市内読書施設に関するアンケート調査（中学校）		59
市内読書施設に関するアンケート調査（児童館）		63

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 小学校

平成22年7月実施

対象 市内小学校 4. 5. 6学年

【八田・源・飯野・白根東・百田・芦安・若草・若草南・
小笠原・櫛形北・櫛形西・豊・落合・大明・南湖】

調査児童数 2,107人

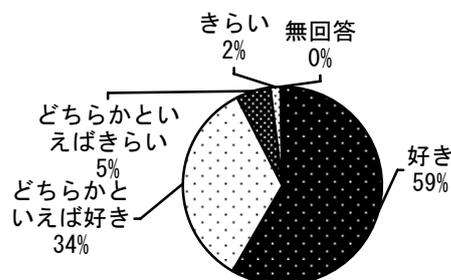
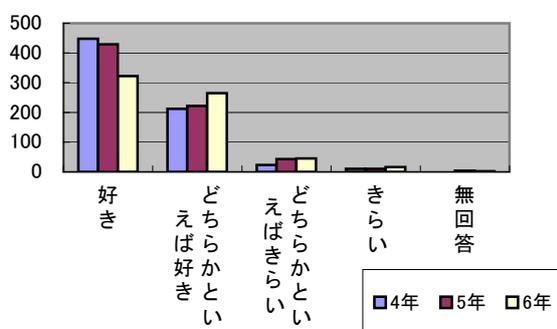
回答者数 2,051人

回答率 97%

※円グラフは全体の割合を表わしています
棒グラフは学年別の数値を表わしています

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

	4年		5年		6年		合計	
	数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
ア 好き	448	65%	429	61%	322	50%	1,199	59%
イ どちらかといえば好き	212	31%	222	31%	265	41%	699	34%
ウ どちらかといえばきらい	23	3%	43	6%	45	7%	111	5%
エ きらい	10	1%	10	1%	16	2%	36	2%
無回答	0	0%	4	1%	2	0%	6	0%
合計	693	100%	708	100%	650	100%	2,051	100%

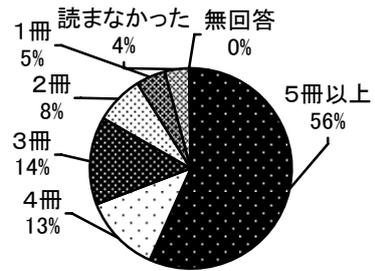
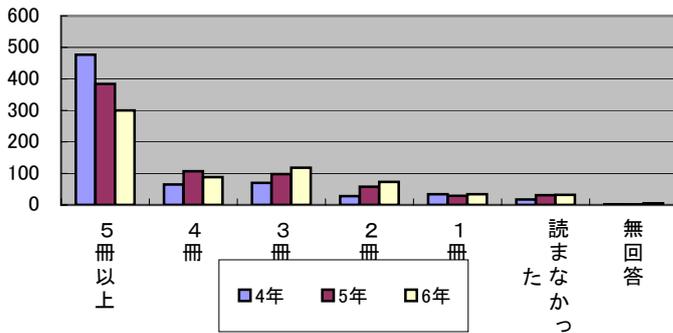


「好き」「どちらかといえば好き」をあわせて93%の児童が本を好きと答えていることは、大変喜ばしい結果である。しかし、学年が進むに従って「どちらかといえばきらい」「きらい」と答える児童が多くなっている。対外的な活動が多くなるという理由だけではなく、この時期の子どもたちの興味関心を捉えた魅力的な読書への働きかけが不足しているのではないか。絵本から物語への移行時に適した良い児童書をどのように紹介していくか、またゆっくり読書をする時間の確保などの環境づくりをすすめていくことが大切だと思われる。

問2 あなたは、6月1ヶ月の間に、教科書、雑誌、マンガ以外の本を何冊読みましたか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 5冊以上
- イ 4冊
- ウ 3冊
- エ 2冊
- オ 1冊
- カ 読まなかった
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
477	69%	384	54%	300	46%	1,161	56%
65	9%	107	15%	88	14%	260	13%
70	10%	98	14%	118	18%	286	14%
28	4%	58	8%	73	11%	159	8%
34	5%	29	4%	34	5%	97	5%
17	2%	31	4%	32	5%	80	4%
2	0%	1	0%	5	1%	8	0%
693	100%	708	100%	650	100%	2,051	100%

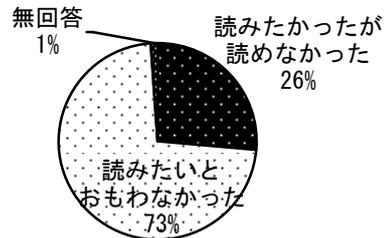
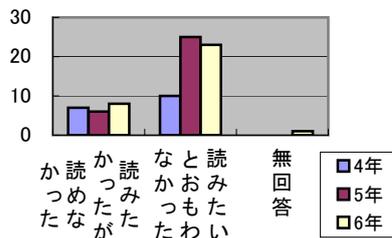


行事が多い6月にもかかわらず、96%の児童が何らかの形で読書をしている。また、前回の調査に比べ、多く読んだ割合が増え、読まなかった割合が減っている。「5冊以上」読んだ児童も絵本から物語への移行する時期で、冊数は学年が進むに従って減少傾向にあるが、全体では56%読んでいる結果は大変喜ばしい。一概に冊数では判断できないが、読書が継続して行われるような働きかけが必要ではないか。「読まなかった」が高学年になるに従って多くなり、全体の4%いることもこれからの課題である。学校での読書の時間や読書指導の重要性を感じる。

問3 問2でカ「読まなかった」を選んだ人に聞きます。それはどうしてですか。どちらかの記号に○をつけてください。

- ア 読みたかったが読めなかった
- イ 読みたいとおもわなかった
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
7	41%	6	19%	8	25%	21	26%
10	59%	25	81%	23	72%	58	73%
0	0%	0	0%	1	3%	1	1%
17	100%	31	100%	32	100%	80	100%

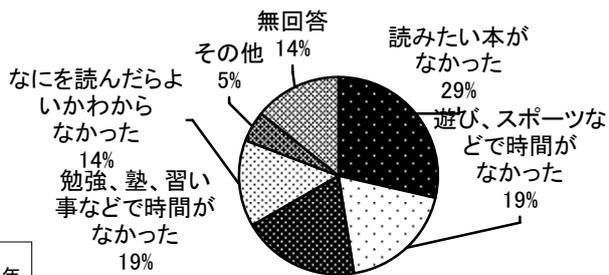
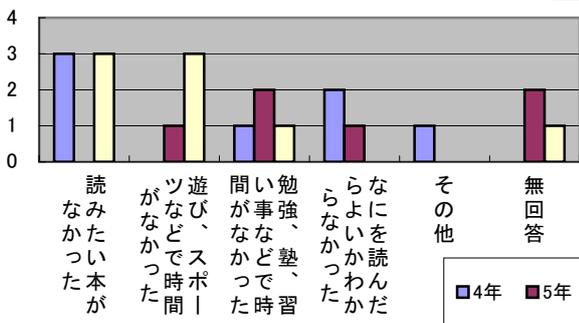


「読みたいとおもわなかった」が全体の73%で、高学年になるにしたがってその割合も増えている。前回の調査と比べてみても増えているが、読書推進計画を作成し実践に取り組みはじめた時に低学年だったと思われる4年生は減少している。取り組みの成果であることを期待する。「読みたいとおもわなかった」が「読みたかったが読めなかった」より多く前回の調査と逆転している要因は何か。また、「読みたかった」という気持ちを大切に育てていきたい。読書を苦手としている児童が少ないながらもいるという事は、これらの児童に本の楽しさや大切さを知らせるにはどのような手だてが必要なのかが課題である。

問4 問3でア「読みたかったが読めなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 読みたい本がなかった
- イ 遊び、スポーツなどで時間がなかった
- ウ 勉強、塾、習い事などで時間がなかった
- エ なにを読んだらよいかわからなかった
- オ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
3	43%	0	0%	3	38%	6	29%
0	0%	1	17%	3	38%	4	19%
1	14%	2	33%	1	13%	4	19%
2	29%	1	17%	0	0%	3	14%
1	14%	0	0%	0	0%	1	5%
0	0%	2	33%	1	13%	3	14%
7	100%	6	100%	8	100%	21	100%

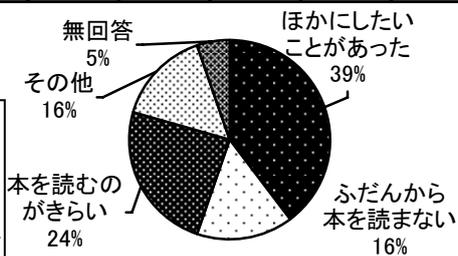


4年生の「読みたい本がなかった」が43%と高い。これは読みたい本があったら読んでいたということになる。学校の図書室や市の図書館の資料の充実と、発達段階や子どもの興味関心を考慮しながら本を紹介していくことや、周りの大人が読書意欲を衰退させないような働きかけをしていく必要がある。また、スポーツや塾、習い事など、子どもたちの日常はとても忙しく、その理由で読めなかったという子が多かった。「時間がなかった」児童には、読書時間を保障してあげることが大切になってくる。前回に比べて「読みたい本がなかった」と回答している児童が少なくなっていることは喜ばしい。

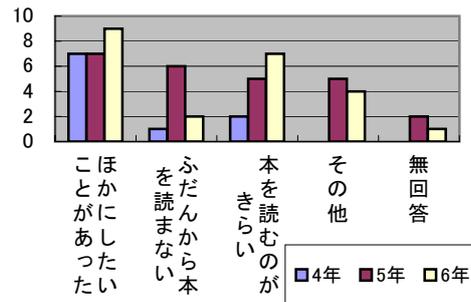
問5 問3でイ「読みたいとおもわなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほかにしたいことがあった
- イ ふだんから本を読まない
- ウ 本を読むのがきらい
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
- ・マンガが好きだから(2)
- ・めんどろ(弱視のため)

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
7	70%	7	28%	9	39%	23	39%
1	10%	6	24%	2	9%	9	16%
2	20%	5	20%	7	30%	14	24%
0	0%	5	20%	4	17%	9	16%
0	0%	2	8%	1	4%	3	5%
10	100%	25	100%	23	100%	58	100%



「読みたいとおもわなかった」児童は、本の楽しさやおもしろさを経験していないことが考えられる。「ふだんから本を読まない」「本を読むのがきらい」という児童が40%いることは、身近にいる大人の読書に対する姿勢も大切になってくる。また、58人中23人が答えた「ほかにしたいことがあった」は、テレビやゲームなどであろうか。子どもたちの周りには楽しい娯楽がいっぱいある。しかし、本がとても楽しく魅力的なものであることを、周りにいる大人が、読み聞かせなどを通して知らせていくことが大事である。また、大人も一緒に本を読むなど、読書環境を整えていかなければならない。前回より本を読まないと答えた割合が20%減っている。少しだが環境が改善されてきたものと期待したい。

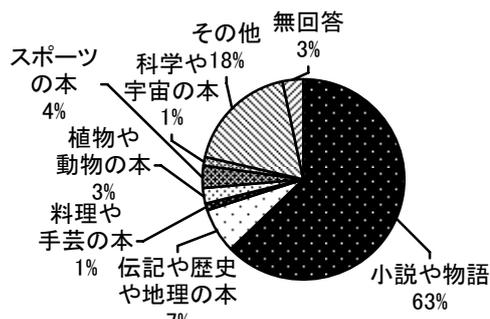


問6 あなたは、最近どんな本を読んでいますか。

- ア 小説や物語
- イ 伝記や歴史や地理の本
- ウ 料理や手芸の本
- エ 植物や動物の本
- オ スポーツの本
- カ 科学や宇宙の本
- キ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
511	68%	482	58%	470	63%	1,463	63%
45	6%	49	6%	75	10%	169	7%
9	1%	6	1%	9	1%	24	1%
16	2%	38	5%	8	1%	62	3%
20	3%	33	4%	30	4%	83	4%
7	1%	10	1%	13	2%	30	1%
107	14%	195	23%	118	16%	420	18%
37	5%	18	2%	24	3%	79	3%
752	100%	831	100%	747	100%	2,330	100%

「小説や物語」が一番多く読まれていることは予想通りの数字であるが、様々な種類の本を読んでいる様子もうかがえる。「小説や物語」が圧倒的に多いのは、子どもの中で「読書＝おはなし(小説)を読む」という感覚があるからではないか。また、登場人物の心情を考えたり、情景を想像したり、自分の経験と重ね合わせたりして読むことの楽しさが子どもたちに受け入れられていたり、小さい頃から読みなれていることも考えられる。他の分野に対して関心がとても低い数値であるが、学年が進むに従って「伝記や歴史や地理の本」などに興味を示すようになるのがわかる。植物や動物、宇宙など自然科学の分野の本にも関心を示すような手立てが必要である。その他が多いが何を示しているのだろうか。



問7 あなたは、読みたい本をどのようにして用意しますか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

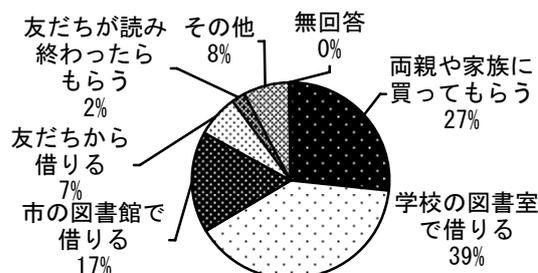
- ア 両親や家族に買ってもらう
- イ 学校の図書室で借りる
- ウ 市の図書館で借りる
- エ 友だちから借りる
- オ 友だちが読み終わったらもらう
- カ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
365	27%	358	25%	368	28%	1,091	27%
563	41%	550	39%	523	40%	1,636	39%
257	19%	234	17%	186	14%	677	17%
87	6%	101	7%	104	8%	292	7%
36	3%	40	3%	16	1%	92	2%
64	5%	118	8%	127	10%	309	8%
1	0%	5	0%	0	0%	6	0%
1,373	100%	1,406	100%	1,324	100%	4,103	100%

「学校の図書室で借りる」が一番多く、小学生にとって学校の図書室は、身近で利用しやすいことがわかる。学校の図書室や市の図書館から本を借りて読む習慣ができています。図書館の役割の果たすところが大きく、さらなる図書館の充実も必要となってくる。前回の調査と比べ、学校の図書室の利用は増えているが、市の図書館の利用は減っている。また、学年が進むに従って市の図書館の利用が減っているのは、保護者に連れて行ってもらう機会が少なくなるからだろうか。家族で利用してもらえるような呼びかけや、資料の充実をすすめていくことも必要ではないか。「両親や家族に買ってもらう」と答えた児童が27%と高く、読書に対する家庭の理解がうかがえる。誕生日やクリスマスなどに家族から本をプレゼントされるとすばらしいことである。

その他の主な意見

- ・自分で買う(91)
- ・兄弟姉妹、家族からもらう、借りる(11)
- ・家にある本を読む(7)
- ・親戚からもらう、借りる(7)
- ・立ち読み(6)



問8 あなたは、読む本をどのようにして選んでいますか。
あてはまる記号すべてに○をしてください。

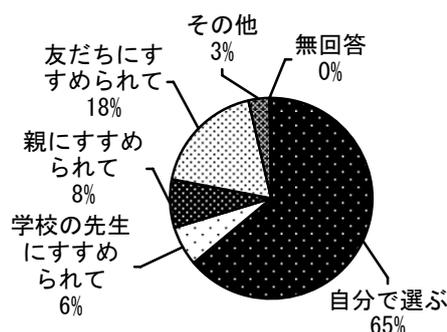
- ア 自分で選ぶ
- イ 学校の先生にすすめられて
- ウ 親にすすめられて
- エ 友だちにすすめられて
- オ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
638	63%	660	64%	619	64%	1,917	65%
87	9%	52	5%	54	6%	193	6%
76	8%	92	9%	62	6%	230	8%
174	17%	182	18%	198	21%	554	18%
35	3%	40	4%	25	3%	100	3%
1	0%	6	1%	2	0%	9	0%
1,011	100%	1,032	100%	960	100%	3,003	100%

その他の主な意見

- ・ 兄弟姉妹にすすめられて (9)
- ・ 親戚からすすめられて (3)
- ・ おすすめの本を学校の先生に聞いて (2)

本の選び方は65%が「自分で選ぶ」と答えていて、本に興味があることは嬉しい。高学年になると与えられた読書から、自分の興味関心がある読書へ変わる時期になることが考えられる。学年が進むにつれて「友だちにすすめられて」が増えてきているのか、友だちとの関係が読書活動へも強く影響していることが読み取れる。予想に反して大人の影響が少なく、先生からすすめられて読む児童が意外と少ない。しかし、親や先生にすすめられて読む児童もいることから、身近にいる大人が子どもの本を知り、積極的に働きかけることが必要である。

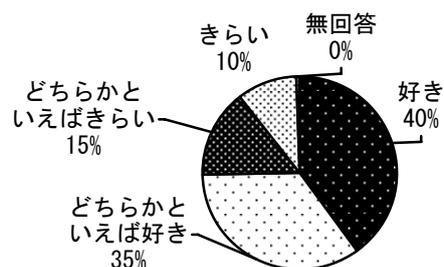


問9 あなたは、本を読んでもらうことが好きですか。(好きでしたか。)
ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえばきらい
- エ きらい
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
341	49%	270	38%	209	32%	820	40%
194	28%	256	36%	264	41%	714	35%
97	14%	98	14%	106	16%	301	15%
61	9%	80	11%	66	10%	207	10%
0	0%	4	1%	5	1%	9	0%
693	100%	708	100%	650	100%	2,051	100%

本を読んでもらうことが「好き」と「どちらかといえば好き」が75%を占めていて、どの学年も平均して多くの児童が読んでもらうのが好きだということがわかる。幼児期の読み聞かせの効果のあらわれである。読み聞かせが本好きにつながることを推測でき、これからも家庭での読み聞かせの呼びかけや、学校の図書室や市の図書館での読み聞かせを積極的に行っていくことが必要である。「きらい」と答えた児童が10%と多くいるのは驚きである。高学年になると自主的に読む方が良くなってきていることが考えられるが、読み聞かせが、大人や読み手の押し付けにならないように気をつける必要がある。

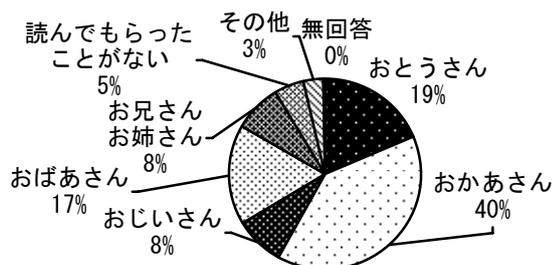


問10 あなたは、いままでに家族から本を読んでもらったことがありますか。
(ありましたか。) あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- アイウエオカキ
- おとうさん
- おかあさん
- おじいさん
- おばあさん
- お兄さんお姉さん
- 読んでもらったことがない
- その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
291	20%	280	19%	197	17%	768	19%
553	37%	584	40%	497	42%	1,634	40%
140	9%	119	8%	79	7%	338	8%
249	17%	257	18%	195	17%	701	17%
137	9%	112	8%	93	8%	342	8%
63	4%	64	4%	74	6%	201	5%
50	3%	47	3%	38	3%	135	3%
6	0%	3	0%	6	1%	15	0%
1,489	100%	1,466	100%	1,179	100%	4,134	100%

- その他の主な意見
- ・ おじ、おば、親戚 (26)
 - ・ いとこ (17)
 - ・ 弟、妹 (9)
 - ・ 幼稚園、保育園、学校の先生 (9)
 - ・ 友達の家族、知り合い (6)
 - ・ 曾祖父母 (4)



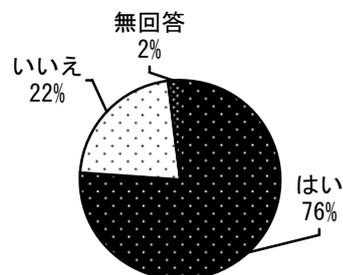
子育てに一番かかわっている「おかあさん」から読んでもらうというのが一番多いが、「おとうさん」や「おばあさん」からも読んでもらっていることがわかる。他にも「おじいさん」や「お兄さんお姉さん」など、さまざまな家族がかかわっているのは、喜ばしいことである。もう少し父親が読み聞かせや本を通しての子どもとのふれ合いに参加するようになると良い。またその一方で、読んでもらったことがないという児童が、少数ではあるがいることは残念である。学校や図書館での読み聞かせ等も大切である。また保護者に対して、家庭において幼児からの読み聞かせの大切さを伝える機会を設け、小さい頃から子どもとふれあう時間のひとつに読み聞かせがあることをPRしていく必要がある。前回に比べ「読んでもらったことがない」という回答が減っており、家庭での読み聞かせが以前より行われていることがわかる。これからも家庭での読書が盛んであってほしい。

問11 お家の人は、本を読んでいますか。

- ア はい
- イ いいえ
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
530	76%	564	80%	466	72%	1,560	76%
149	22%	128	18%	173	27%	450	22%
14	2%	16	2%	11	2%	41	2%
693	100%	708	100%	650	100%	2,051	100%

76%の児童が、家の人が本を読んでいると答えている。多くの家庭で身近な大人が読書をしていることがうかがえ、うれしい状況である。反面、読んでいないという家庭が22%ある。大人の読書習慣が子どもの読書習慣に与える影響は大きい。親が本に親しむ姿を見て子どもも自然に本を読むことが抵抗なく行われるようになるのではないかと考える。家庭での読書を習慣づけるためにも、家族で一緒に本を読む働きかけが必要である。

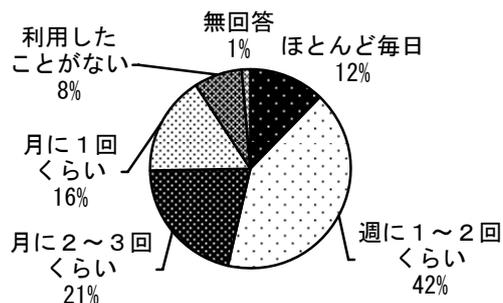


問12 授業時間のほかに学校の図書室をどのくらい利用しますか。
ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほとんど毎日
- イ 週に1～2回くらい
- ウ 月に2～3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
112	16%	76	11%	62	10%	250	12%
319	46%	303	43%	228	35%	850	42%
110	16%	153	22%	167	26%	430	21%
96	14%	111	16%	126	19%	333	16%
50	7%	60	8%	49	8%	159	8%
6	1%	5	1%	18	3%	29	1%
693	100%	708	100%	650	100%	2,051	100%

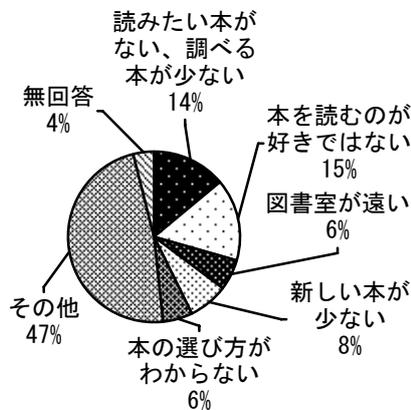
ほとんどの児童が、授業以外の時間に学校の図書室を利用しているのは、図書室が気軽に行ける環境にあるからだと思う。好きな本を探したり、自分の知りたい情報を手に入れる事のできる場所、また、くつろげる場所ともなっている。学年が進むに従って、「ほとんど毎日」利用する率は減っているが、厚い本を借りて読むようになれば、毎日借りにいかないということも考えられる。「利用したことがない」が全体の8%いるのは残念である。前回のアンケートより5%増えていることは、ますます忙しくなっている学校生活の様子があがえる。また、読書離れの時期にもあたるので、この児童に図書室の魅力について、もっとアピールしていくことや読書指導についても検討していく必要がある。



問13 問12でオ「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由は何ですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 読みたい本がない、調べる本が少ない
- イ 本を読むのが好きではない
- ウ 図書室が遠い
- エ 新しい本が少ない
- オ 本の選び方がわからない
- カ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・他に用事がある(6)
 - ・行くひま、時間がない(5)
 - ・読み終わらない(5)
 - ・外で遊ぶから(5)

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
6	12%	6	10%	10	20%	22	14%
7	14%	9	15%	9	18%	25	15%
3	6%	6	10%	0	0%	9	6%
4	8%	4	7%	4	8%	12	8%
5	10%	4	7%	0	0%	9	6%
23	46%	30	50%	23	47%	76	47%
2	4%	1	2%	3	6%	6	4%
50	100%	60	100%	49	100%	159	100%



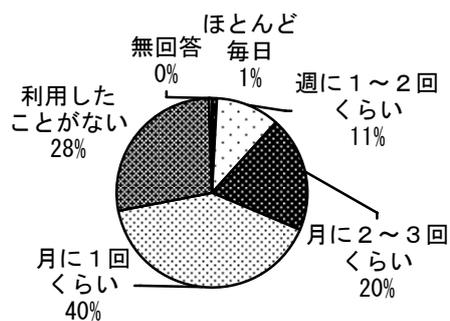
利用しない理由に、「読みたい本がない」「新しい本が少ない」と答えた児童が22%いる。読みたい本や必要な本を見つけるという成功体験が少ないためではないか。少しでも要求を満たしてあげられるよう資料の充実を行っていく必要がある。また、「本を読むのが好きではない」「本の選び方がわからない」と答えた児童が21%いる。一人ひとりに合った本の紹介などの働きかけと読書指導を、担任や学校の図書室で取り組む必要がある。「その他」が47%を占めているが、休み時間や放課後は、他の遊びや用事で時間が取られ図書室に行く時間がないということであろうか。時間の使い方を工夫して図書室に通う習慣も身につけてほしい。

問14 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほとんど毎日
- イ 週に1～2回くらい
- ウ 月に2～3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
10	1%	6	1%	1	0%	17	1%
108	16%	86	12%	31	5%	225	11%
137	20%	151	21%	112	17%	400	20%
272	39%	296	42%	267	41%	835	40%
163	24%	164	23%	238	37%	565	28%
3	0%	5	1%	1	0%	9	0%
693	100%	708	100%	650	100%	2,051	100%

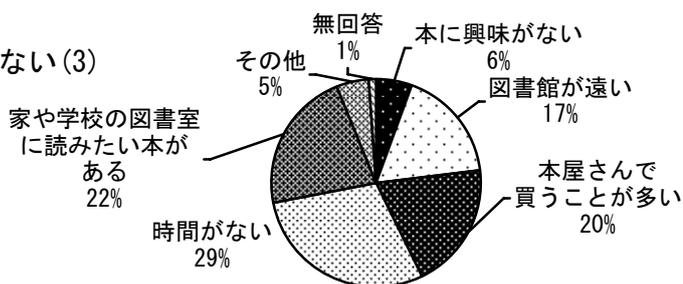
全体で72%の児童が市の図書館を利用していると答えている。中学校区にそれぞれ図書館がある事のあらわれと思われる。しかし、「利用したことがない」が全体の28%を占めているのは、学校の図書室が充実していることもうかがえる。講演会・クリスマス会等のさまざまな機会を利用して、市の図書館を身近な公共施設としてPRしていく必要がある。また、児童の足では遠すぎて行けない地域もあることから、保護者への図書館利用の働きかけも必要である。前回に比べ「月に2～3回くらい」が9%から40%とぐんと増え、他の項目も利用率が高まっていることがわかる。



問15 問14でオ「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由は何ですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 本に興味がない
- イ 図書館が遠い
- ウ 本屋さんで買うことが多い
- エ 時間がない
- オ 家や学校の図書室に読みたい本がある
- カ その他
- 力 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
6	4%	14	9%	12	5%	32	6%
25	15%	29	18%	44	18%	98	17%
29	18%	30	18%	53	22%	112	20%
54	33%	50	30%	60	25%	164	29%
40	25%	31	19%	54	23%	125	22%
7	4%	9	5%	11	5%	27	5%
2	1%	1	1%	4	2%	7	1%
163	100%	164	100%	238	100%	565	100%



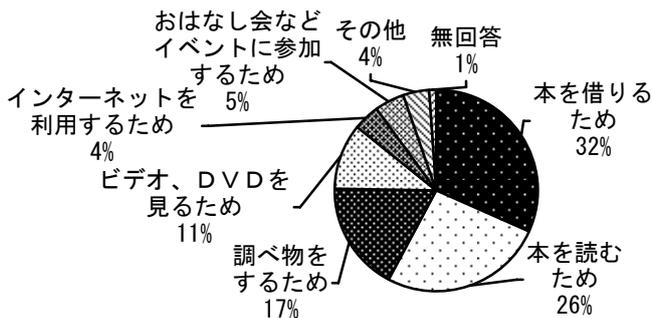
子どもの行ける距離に市の図書館があるかどうかで、かなり利用に差が出てくるものと思われる。近ければ頻りに利用することもできるし、短時間で行って行くことができる。市の図書館が遠ければ子どもだけでは利用することは難しい。また、習い事やスポ少など、小学生も多忙になってきていることの影響も考えられるが、市の図書館に連れて行くかどうかという親の考え方も反映してくるのではないかと考える。「時間がない」が29%いるが、小学生で時間は作れると思うので、興味を持たせる努力も必要である。「本屋さんで買うことが多い」「家や学校の図書室に読みたい本がある」を合わせて半数近くになることから、読書が苦手だから利用しないわけではなく、市の図書館以外で本を用意できるから利用しないということがわかる。

問16 市の図書館に行くのは何のためですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- アイウエオカキ
- 本を借りるため
- 本を読むため
- 調べ物をするため
- ビデオ、DVDを見るため
- インターネットを利用するため
- おはなし会などイベントに参加するため
- その他
- 無回答

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
406	32%	444	32%	371	30%	1,221	32%
360	28%	356	26%	304	25%	1,020	26%
182	14%	242	17%	245	20%	669	17%
136	11%	144	10%	130	11%	410	11%
33	3%	69	5%	64	5%	166	4%
83	7%	59	4%	38	3%	180	5%
48	4%	53	4%	56	5%	157	4%
16	1%	20	1%	11	1%	47	1%
1,264	100%	1,387	100%	1,219	100%	3,870	100%

- その他の主な意見
- ・勉強するため(27)
 - ・ビデオ、DVDを借りる(5)
 - ・学校にない本を借りるため(2)
 - ・友達に紹介するため
 - ・どんな本があるのか検索するため



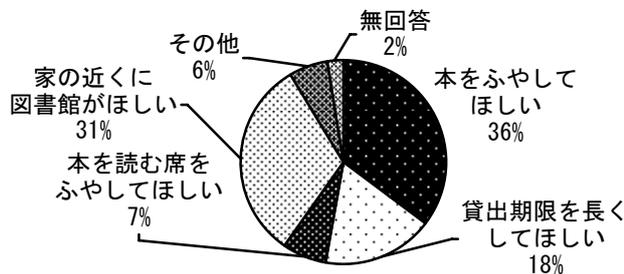
「本を借りるため」「本を読むため」を合わせると58%になっている。多くの児童が市の図書館を利用し読書していることは、素晴らしいことである。「調べ物をするため」に利用する児童は学年が進むに従って多くなることも理解できる。しかし、図書館利用の推進として行っている「おはなし会やイベントなどに参加するため」という児童は、まだまだ少ない。これからも資料やサービスの充実を図るとともに、おはなし会や映画会、工作教室などのイベントに参加するなど、市の図書館はさまざまな利用方法があることをPRしていく必要がある。

問17 市の図書館にこうしてほしいと思うことはなんですか。ひとつえらんで記号に○をしてください。

- アイウエオ
- 本をふやしてほしい
- 貸出期限を長くしてほしい
- 本を読む席をふやしてほしい
- 家の近くに図書館がほしい
- その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
253	37%	246	35%	222	34%	721	36%
126	18%	117	17%	116	18%	359	18%
31	4%	46	6%	69	11%	146	7%
247	36%	205	29%	194	30%	646	31%
23	3%	69	10%	38	6%	130	6%
13	2%	25	4%	11	2%	49	2%
693	100%	708	100%	650	100%	2,051	100%

- その他の主な意見
- ・マンガを増やしてほしい(13)
 - ・ビデオ、DVDを増やしてほしい(11)
 - ・本の位置をわかりやすくしてほしい(6)
 - ・インターネットサービスの充実(4)
 - ・公式本、参考書などをおいてほしい(2)
 - ・小学生の自習室を作してほしい
 - ・小学生向けの雑誌を入れてほしい



「本をふやしてほしい」と「家の近くに図書館がほしい」という回答が多いのは、もっと市の図書館を利用したいという気持ちを持っているあらわれではないか。小学生にとっては、やはり自転車や歩いていける範囲に市の図書館があることが大切であり、読みたい蔵書が充実しているということが一番の希望である。魅力的な資料の充実が求められる。少しでも要望に答えられるようできる事から進めていきたい。

問18 あなたは、どうすればみんながもっと本を読むようになるとおもいますか。

主な意見

◎自分自身に関すること

- ・読む時間を増やす(57)
- ・本の良さを理解する、好きになる(15)
- ・おもしろい本や好きなシリーズを見つける(11)
- ・自分が読んだ本を友達にすすめる(7)
- ・ゲーム、テレビ、マンガの時間を減らす(4)
- ・不思議に思ったことを調べる(2)
- ・おはなし会に行く(2)
- ・身近なところに本をおく

◎家庭に関すること

- ・小さいころから本に親しむ(2)
- ・小さいうちから図書館にみんなで行く
- ・部屋が別であったり、静かにできるようにする
- ・本を読んであげれば本のおもしろさがわかると思う

◎学校に関すること

- ・本が好きな人から、きれいな人や読まない人にすすめたり紹介する(53)
- ・いろいろな本を紹介する(13)
- ・本を読むようにみんなに呼びかける(12)
- ・図書の授業を増やす(11)
- ・読み聞かせを増やす(9)
- ・学校の先生が本を紹介する(7)
- ・友達同士で本をすすめる(6)
- ・本を使って調べる体験をする(5)
- ・本を読む日を決めて、休み時間にみんなで読む(4)
- ・朝読の時間を延ばす、増やす(3)

◎図書館(学校、公共)に関すること

- ・席を増やすなど本を読みやすい環境をつくる(6)
- ・音楽を流したり、インテリアを工夫したりする(3)
- ・イベントを増やす(高学年や中高生にも魅力的なイベントを)(43)
- ・ポスター、チラシ、CATVなどを使って図書館やおすすめの本の宣伝をする(32)
- ・本の場所をわかりやすくする(6)
- ・図書館に来ている人に好きな本のアンケートをしてその本をだす(25)
- ・雑誌を増やす(2)
- ・年に1回本の会を開く(1時間くらい本を読んで感想発表やおすすめの本を紹介する会)

◎行政に関すること

- ・家の近くに図書館が欲しい(17)
- ・図書館の本を増やす(14)
- ・家から遠い図書館へ行けるように巡回バスがあるといい
- ・読書の日をつくる(2)

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 中学校

平成22年7月実施

学校名 市内中学校 2学年

【八田・巨摩・御勅使・芦安・若草・櫛形・甲西】

調査生徒数 775人

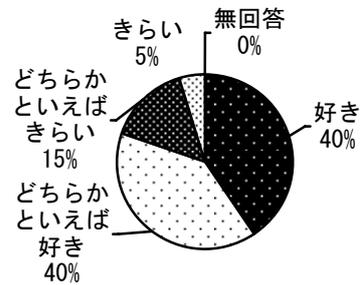
回答者数 732人

回答率 94%

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえばきらい
- エ きらい
- 無回答
- 合計

297	40%
290	40%
110	15%
34	5%
1	0%
732	100%

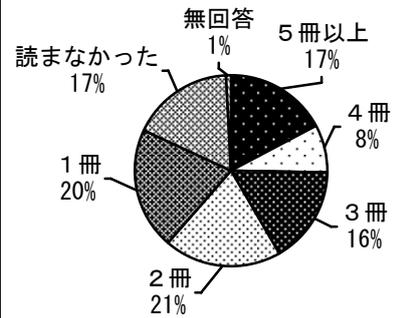


80%が、読書を「好き」「どちらかといえば好き」と答えている。とても好ましい状況である。しかし、一方で20%が「どちらかといえばきらい」「きらい」と答えている。うち5%ははっきり「きらい」と答えている。小学生の時よりも本を読むことが好きの割合が減っている。多くの情報がある中で本を読むことの興味が薄らいできたのではないか。心が揺れる中学生だからこそ読書が人間の成長に欠かせないものであることを伝えていく必要がある。

問2 あなたは、6月1ヶ月の間に、教科書、雑誌、マンガ以外の本を何冊読みましたか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 5冊以上
- イ 4冊
- ウ 3冊
- エ 2冊
- オ 1冊
- カ 読まなかった
- 無回答
- 合計

数値	割合
127	17%
58	8%
119	16%
146	21%
149	20%
127	17%
6	1%
732	100%



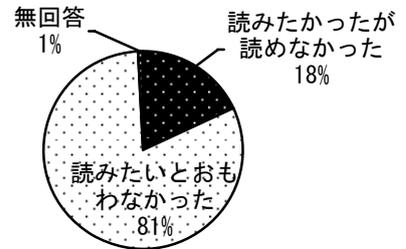
「5冊以上」読む生徒がいる反面、「読まなかった」という生徒も同じくらいいる。本を読む生徒と読まない生徒に分かれている。長い本を読むようになることもあるが、1人当たりの読む冊数が小学校の調査よりも減っている。勉強やクラブ活動で忙しい学校生活の中、多くの生徒が読書をしている結果は大変喜ばしい。しかし、読まなかった生徒もいることは、何らかの形で本にふれる方策を考える必要がある。中学生という多感な時期に、多くの本にふれることは大事なので、読書の時間の確保が必要である。朝読の取り組みの成果か、小学生同様、前回の調査に比べ、多く読んだ割合が増え、読まなかった割合が減っていることは喜ばしい。

問3 問2で「読まなかった」を選んだ人に聞きます。それはどうしてですか。どちらかの記号に○をつけてください。

- ア 読みたかったが読めなかった
- イ 読みたいとおもわなかった
- 無回答
- 合計

数値	割合
23	18%
103	81%
1	1%
127	100%

「読まなかった」人の81%が「読みたいとおもわなかった」という理由である。中学生になると、部活や塾などで忙しくて読めないということがあろうが二極化しているのがわかる。その原因は何か、またこれらの生徒に読書の楽しさを知らせるにはどのような手だてが必要なのかが課題である。魅力的な資料提供など本への興味を持つような取り組みや、一斉読書や読書会など読書に親しむ手だてを考える必要がある。前回の調査と比べ、「読みたいとおもわなかった」という回答がかなり増えている。

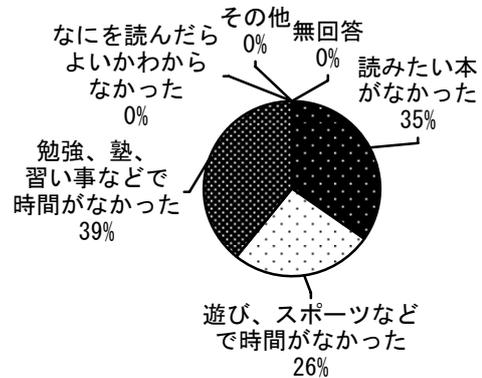


問4 問3でア「読みたかったが読めなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 読みたい本がなかった
- イ 遊び、スポーツなどで時間がなかった
- ウ 勉強、塾、習い事などで時間がなかった
- エ なにを読んだらよいかわからなかった
- オ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
8	35%
6	26%
9	39%
0	0%
0	0%
0	0%
23	100%

「遊び、スポーツ」や「勉強や塾、習い事などで読む時間がない」という生徒が65%いる一方で、「読みたい本がなかった」という生徒が35%いる。読む時間がないと答えた生徒に対しては、家庭や学校で読む時間を作る必要があるのではないか。学校で行っている朝読書は、忙しい中学生にとって貴重な時間である。また、「読みたい本がなかった」と答えた生徒は、読みたい本があったら読んでいたということになる。学校の図書室や市の図書館資料の充実と、読みたいと思えるような魅力的な本や興味にあった本を紹介するなど、読書意欲を衰退させない働きかけをしていく必要がある。中学生になると勉強、塾、スポーツ等大変忙しくなると同時に興味の幅も広がる。読みたい本がなかったと答えた生徒を含め、中学生の興味に合った本の紹介等を行う必要がある。

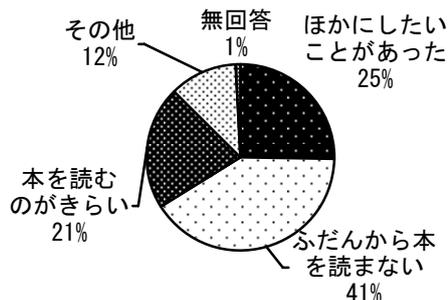


問5 問3で「読みたいとおもわなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほかにしたいことがあった
- イ ふだんから本を読まない
- ウ 本を読むのがきらい
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・ 読みたい本がなかった
 - ・ マンガばかり読んでいたため(2)
 - ・ マンガじゃないから読まない(2)

数値	割合
26	25%
42	41%
22	21%
12	12%
1	1%
103	100%

「ふだんから本を読まない」「本を読むのがきらい」という答えが60%を占める。これらの生徒は本への興味がなく、本を読む楽しさを知らないのではないか。小さい頃から、周りの大人が働きかけて読書の楽しさを知らせていくことが、中学生になってからの読書意欲につながっていくのではないか。小学生のうちから本を読む習慣を継続的に持てるような働きかけや、多くの本の中から本を選ぶ楽しさや読むことの楽しさ、おもしろさを体験させることが大事である。

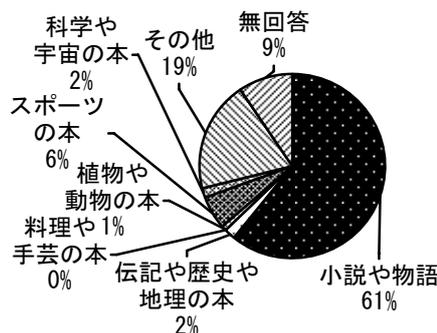


問6 あなたは、最近どんな本を読んでいますか。

- ア 小説や物語
- イ 伝記や歴史や地理の本
- ウ 料理や手芸の本
- エ 植物や動物の本
- オ スポーツの本
- カ 科学や宇宙の本
- キ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
458	61%
14	2%
1	0%
5	1%
45	6%
12	2%
146	19%
71	9%
752	100%

61%の生徒が「小説や物語」を読んでおり、小学校の調査とほぼ同じ割合である。中学生になると「伝記や歴史や地理の本」が減り、「スポーツの本」が増えていることがわかる。他の分野の割合は1桁である。興味の広がる中学生には、「小説や物語」以外の本も多く読んでほしい。「科学や宇宙の本」と答えた生徒は2%と低く、ニュースで言われているようにこの調査でも理科離れが読み取れる。読書の幅を広げ、他の分野の本へも視野を広げるとまた読書の楽しさも増すことを知らせたい。また得意な分野での読書が楽しさをより知ることができるということも知らせたい。

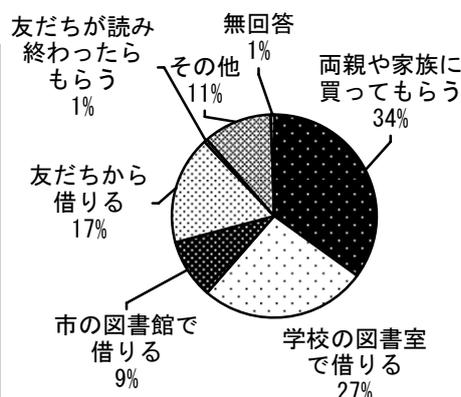


問7 あなたは、読みたい本をどのようにして用意しますか。
あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 両親や家族に買ってもらう
- イ 学校の図書室で借りる
- ウ 市の図書館で借りる
- エ 友だちから借りる
- オ 友だちが読み終わったらもらう
- カ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・自分で買う(102)
 - ・立ち読みをする(2)
 - ・家族から借りる(5)
 - ・学級文庫から選ぶ(4)

数値	割合
423	34%
322	27%
115	9%
208	17%
7	1%
130	11%
8	1%
1,213	100%

「学校や市の図書館で借りる」と同じくらいの割合で、「両親や家族に買ってもらう」という生徒が多い。全体の35%が「両親や家族に買ってもらう」と答えている。自分の興味のある本を家庭で用意していることがうかがえる。これは多くの親や家族が子どもに本を読ませたいという、読書に対する家庭の理解があるとも考えられる。しかし、家で買ってもらうにも経済的に考えて限度があるのではないか。また、友だちとのコミュニケーションのひとつとして生徒同士で本を貸し借りしての交流が見てとれる。中学生になると忙しくて本を借りに行っていられないという生徒も多いと思われる。買ってもらうたり、友だちから借りるほうが楽なのかもしれない。学校の図書室・市の図書館ともに前回調査に比べ利用率が下がっている。学校の図書室と連携し中学生にとってより魅力的な資料の充実、構成に努めていくことが求められる。

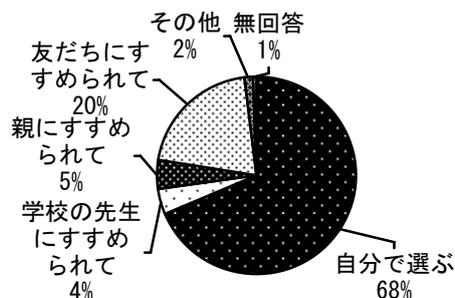


問8 あなたは、読む本をどのようにして選んでいますか。
あてはまる記号すべてに○をしてください。

- ア 自分で選ぶ
- イ 学校の先生にすすめられて
- ウ 親にすすめられて
- エ 友だちにすすめられて
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・兄弟にすすめられて(3)

数値	割合
682	68%
41	4%
47	5%
205	20%
15	2%
5	1%
995	100%

本の選び方は68%が「自分で選ぶ」と答えている。また、「友だちにすすめられて」が20%である。ほとんどの中学生が自分の興味関心のある本を選んで読み、目的意識を持った自立的な読書をしている。しかし、親や先生など周りの大人たちが、年齢にあった偏らない本を紹介することも必要である。また、中学生が読んでいる本を身近にいる大人も一緒に読み、話題を共有することも必要である。楡形図書館が配布している中学生が本を選ぶ際の参考になるYA向け冊子の内容をさらに充実させることも望まれる。

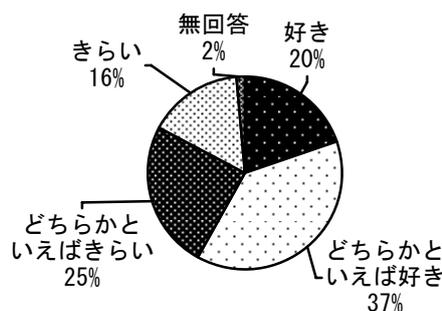


問9 あなたは、本を読んでもらうことが好きですか。(好きでしたか。)
ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえばきらい
- エ きらい
- キ 無回答
- 合計

数値	割合
144	20%
280	37%
181	25%
116	16%
11	2%
732	100%

小学校の調査では、「好き」「どちらかといえば好き」が75%だったのに対し、中学校では57%と減少している。聞かされるのが苦痛なのか、読んでもらうことの楽しさを知らないのか、または中学生になると自主的に読む方が良くなってきているのが考えられる。自分で読むということならば、成長のあらわれだと思うが、やはり小さい頃から読み聞かせに親しんできた子どもたちであれば、読んでもらうのが好きになるのではないか。また、中学生に朗読の楽しさや耳から入ることばの響きを楽しむための機会をつくることも大切なのではないか。また、質問を「小さい頃」、「現在」どちらかに焦点を当てて回答するかで結果は大きく異なるように思われる。

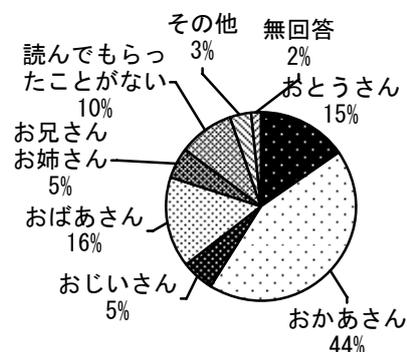


問10 あなたは、いままでに家族から本を読んでもらったことがありますか。(ありましたか。) あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア おとうさん
- イ おかあさん
- ウ おじいさん
- エ おばあさん
- オ お兄さんお姉さん
- カ 読んでもらったことがない
- キ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・ 親戚 (4)
 - ・ 妹、いとこ (3)
 - ・ 図書館のおはなし会
 - ・ 友達 (3)
 - ・ 先生 (2)

数値	割合
181	15%
516	44%
65	5%
184	16%
62	5%
114	10%
41	3%
20	2%
1,183	100%

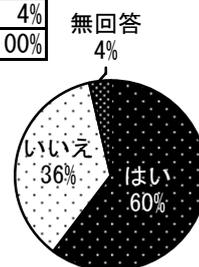
多くの生徒が両親ばかりでなく、家族に本を読んでもらっていることがわかる。おじいさんやおばあさん、兄弟からも読んでもらっていることは喜ばしいことである。一方で、1割の生徒が「読んでもらったことがない」と回答しているのは残念であるが、小学生同様、前回調査に比べ「読んでもらったことがない」の割合が減っている。家庭での読み聞かせが少しずつ受け入れられてきているのではないか。また、小学校で行われている親子読書もよい機会となっていると思われる。小さい頃から子どもとふれあう時間の一つに読み聞かせがあることをPRしていく必要がある。ブックスタートが平成15年から始まっている。今後、この数字が低くなっていくことを期待したい。



問11 お家の人は、本を読んでいますか。

- ア はい
- イ いいえ
- 無回答
- 合計

数値	割合
442	60%
263	36%
27	4%
732	100%

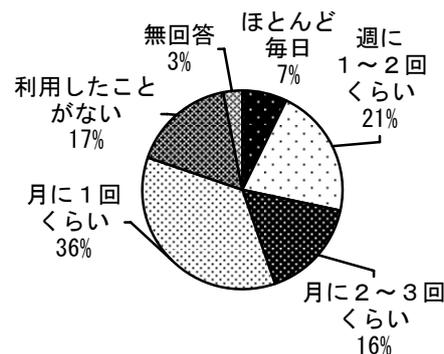


家の人本が本を読んでいると答えた生徒が60%いる。普段から家庭で大人が本を読んでいることは生徒に大きな影響を与え、子どもの読書習慣につながる。読書は家庭環境や身近な大人の姿勢が大切である。PTA活動を通して、家族も一緒に本を読む働きかけをおこない、全家庭で読書に親しむ環境づくりの呼びかけをすることも大切である。

問12 授業時間のほかに学校の図書室をどのくらい利用しますか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほとんど毎日
- イ 週に1~2回くらい
- ウ 月に2~3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

数値	割合
52	7%
156	21%
119	16%
261	36%
121	17%
23	3%
732	100%

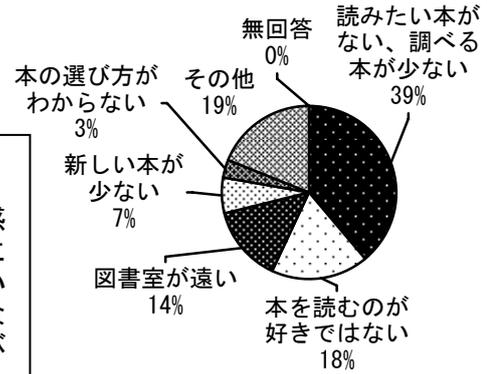


中学生でも、「ほとんど毎日」学校の図書室を利用している生徒がいることは喜ばしい。また、80%の生徒が月に何回かは図書室を利用していると答えている。一方で、「利用したことがない」という生徒も17%いる。前回のアンケートより7%増えていることは、ますます忙しくなっている学校生活の様子がうかがえる。図書室を利用しない生徒を呼び込む手だてとして、常に生徒の興味を本につなげるような工夫や読書指導のあり方の検討が必要である。

問13 問12で「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由はなんですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 読みたい本がない、調べる本が少ない
- イ 本を読むのが好きではない
- ウ 図書室が遠い
- エ 新しい本が少ない
- オ 本の選び方がわからない
- カ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・行く時間がない(40)
 - ・図書館に行くのがめんどろ(5)
 - ・本は買う(31)
 - ・自分が持っている本で満足している(3)

数値	割合
47	39%
22	18%
17	14%
8	7%
4	3%
23	19%
0	0%
121	100%

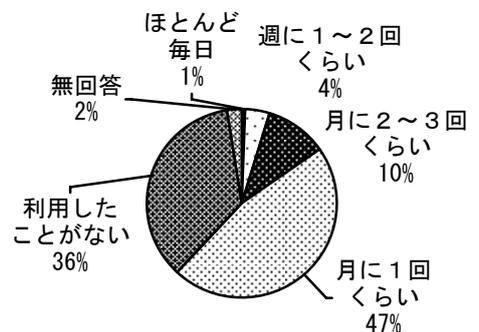


利用しない理由に39%の生徒が「読みたい本がない、調べる本が少ない」と答えている。「新しい本が少ない」と合わせると46%の生徒が蔵書に魅力がないと感じている。「図書室が遠い」というのは、施設の配置に関することなので簡単には改善できないが、「読みたい本がない、調べる本が少ない」「本の選び方がわからない」などは、資料の充実や見直しを行うこと、担任及び司書が生徒に調べ方や本の選び方をアドバイスをすることで解決していくのではないかと。図書室の資料の充実と、生徒におすすめ本の紹介など図書室の利用の働きかけや読書指導が必要である。

問14 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほとんど毎日
- イ 週に1~2回くらい
- ウ 月に2~3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

数値	割合
4	1%
31	4%
76	10%
342	47%
261	36%
18	2%
732	100%



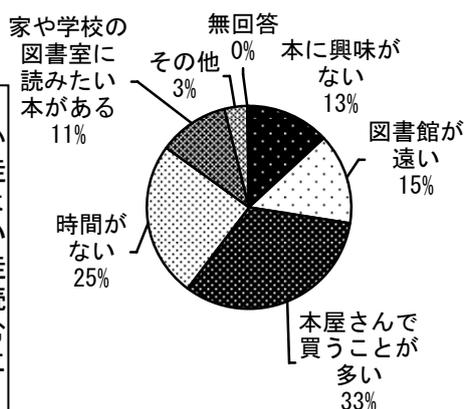
市の図書館を利用する生徒が62%いる。これは中学校区に図書館があるからだと考え。一方、利用したことがない生徒が36%いる。学校の図書室が充実していることもうかがえるが、利用したことのない生徒に、市の図書館のサービスを知らせ、利用してもらえようようにしていくことが、生涯を通して図書館を利用する市民を育てるために大切である。学校との連携をとった情報発信、中学生を対象とした講演会や事業を行うことが考えられる。また、資料の充実に努め、身近な公共施設としてPRしていく必要がある。

問15 問14で「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由はなんですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 本に興味がない
- イ 図書館が遠い
- ウ 本屋さんで買うことが多い
- エ 時間がない
- オ 家や学校の図書室に読みたい本がある
- カ その他
- キ 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・利用カードを持っていない
 - ・読みたい本がない(3)
 - ・どこにあるのかわからない

数値	割合
34	13%
38	15%
85	33%
65	25%
29	11%
9	3%
1	0%
261	100%

様々な理由がうかがえるが、「本屋さんで買うことが多い」と答えている生徒が33%いる。このことから、何らかのかたちで本とかかわった生活をしているのがわかる。この生徒たちは、市の図書館に親しみを持つようになると利用するようになるのではないかと期待できる。「図書館が遠い」という理由の人が15%いる。小中学生にとっては、自転車や徒歩でいける距離にあるのが理想である。地域館の必要性が読み取れる。「図書館が遠い」や「時間がない」などは、やむをえないかもしれないが、支援方法を考えていきたい。本に興味がないという生徒が13%いるということは残念である。中学生にとっても魅力的な資料の充実をおこない、これから成長していく過程で市の図書館の利用や必要性をPRしていく必要がある。また、今の中学生がどんなものに興味があるのかも今後調査をする必要がある。

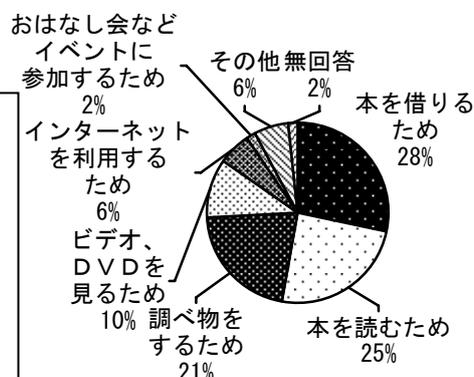


問16 市の図書館に行くのは何のためですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 本を借りるため
- イ 本を読むため
- ウ 調べ物をするため
- エ ビデオ、DVDを見るため
- オ インターネットを利用するため
- カ おはなし会などイベントに参加するため
- キ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・宿題、勉強するため(98)
 - ・どんな本があるか見に行く(2)
 - ・DVDを借りに行く

数値	割合
387	28%
339	25%
292	21%
143	10%
81	6%
24	2%
85	6%
21	2%
1,372	100%

「本を借りるため」、「本を読むため」、「調べ物をするため」の順に回答している。またAVブースやインターネットも利用され、目的を持ち図書館の機能をうまく利用していることがうかがえる。中学生になると、この選択肢以外に学習室を利用しにくることも多いのではないだろうか。少数ながらイベントに参加するという生徒がいたことに注目したい。今後、より多くの中学生に市の図書館に足を運んでもらうためにも資料の充実や、中学生が参加できるようなイベントを考えてPRしていく必要がある。市の図書館でなければ得られない特徴を発信していく必要がある。



問17 市の図書館にこうしてほしいと思うことはなんですか。
ひとつえらんで記号に○をしてください。

- ア 本をふやしてほしい
- イ 貸出期限を長くしてほしい
- ウ 本を読む席をふやしてほしい
- エ 家の近くに図書館がほしい
- オ その他

無回答

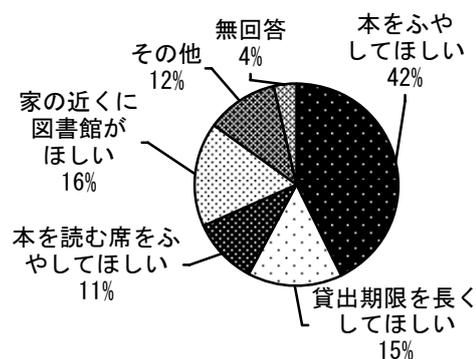
合計

その他の主な意見

- ・本の場所をわかりやすくしてほしい(2)
- ・本の紹介をする(2)
- ・DVDを増やしてほしい(3)
- ・もっと広くしてほしい(2)
- ・4席ずつわけて仕切してほしい
- ・学習席を増やしてほしい(11)

数値	割合
316	42%
109	15%
79	11%
122	16%
85	12%
26	4%
737	100%

「本をふやしてほしい」と答えた生徒が42%いる。市の図書館の蔵書の現状に満足していないことがうかがえる。学校の図書館、市の図書館とも魅力ある蔵書構成が必要ではないだろうか。また、レファレンスや予約、他の図書館から借りられることなどの資料提供サービスを知らない生徒もいるのではないかと考えられる。ただ単に本を増やすことだけでなく、資料の活用方法についても知らせ、更にサービスの向上に努める必要がある。



問18 あなたは、どうすればみんながもっと本を読むようになるとおもいますか。

主な意見

◎自分自身に関すること

- ・読みやすい環境を整える(64)
- ・本を読む時間を増やす(36)
- ・周りにいろいろな本をすすめる(18)
- ・自分に合った本を探す(7)
- ・友だち同士でおもしろかった本をすすめあう
- ・友だちに貸す(2)
- ・好きな作家や作風からだんだん読書の幅を広げていく

◎家庭に関すること

- ・親が子どもに読み聞かせをする(赤ちゃんの頃から)

◎学校に関すること

- ・学校で図書を増やす(31)
- ・授業などで本を読ませる(20)
- ・朝読をする(9)

◎図書館(学校、公共)に関すること

- ・マンガを増やす(12)
- ・読んだ感想を図書館に貼る(10)
- ・ポイント制にして貯まったら景品を出す(10)
- ・月に一度、図書室を利用する日をつくる(10)
- ・図書館がリクエストに応える(6)
- ・展示の仕方を工夫する(5)
- ・部活帰りにも行けるようにしてほしい(7時まで開けてほしい)

◎行政に関すること

- ・市が住民に呼びかける(15)
- ・いろいろな場所に図書館をつくる(6)
- ・図書室を広くする、席を増やす(4)

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 3歳児保護者

平成22年7月実施

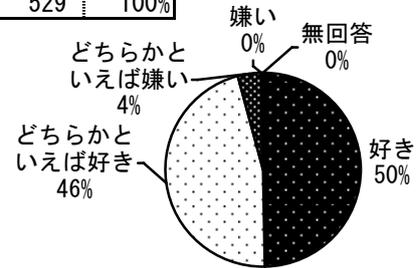
対象 市内保育所・幼稚園 3歳児保護者
 【八田・巨摩・白根・百田・白根東・芦安・若草・マコト愛児園・たちばな
 ・十日市場・櫛形中央・櫛形北・櫛形西・豊・さくらんぼ・落合・大明
 ・南湖第1・南湖第2・ポッポの家】
 【御勅使・小笠原】

調査保護者数 594人
 回答者数 529人 (うち父24人/うち母480人/その他0人/無回答25人)
 回答率 89%

問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
263	50%
244	46%
20	4%
2	0%
0	0%
529	100%

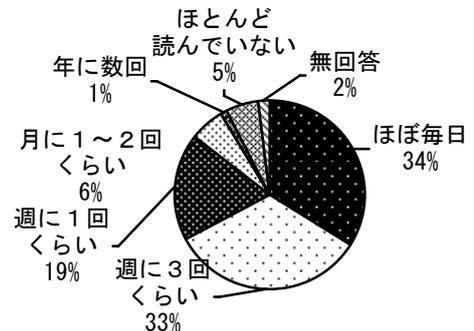


「好き」「どちらかといえば好き」と答えている人が96%である。「どちらかといえば嫌い」が4%であるが、3歳の子どもであるから「嫌いであろう」という程度と思われる。本好きな3歳といえる。多くの家庭で子どもが本を好きになる環境づくりをしていることがうかがえる。

問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- 無回答
- 合計

数値	割合
179	34%
176	33%
98	19%
30	6%
7	1%
28	5%
11	2%
529	100%



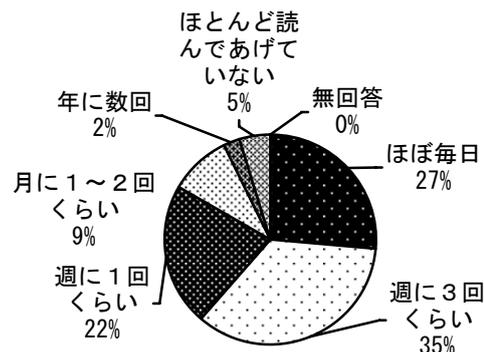
週に1回以上読んでいると答えている人が86%である。3歳の子どもたちはよく本を読んでいる。保護者が子どもに読み聞かせをするなど読書に対する意識が重要である。「ほとんど読んでいない」が5%である。この家庭に小さい時から子どもが本を読むことの大切さを伝えていくことが必要である。

問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。) 〇はまる記号に〇をつけてください。

- ア ほほ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
140	27%
185	35%
116	22%
50	9%
13	2%
25	5%
0	0%
529	100%

「ほほ毎日」が27%、「週に3回くらい」が35%と頻繁に本を読んであげている。忙しいなかでも子どもとふれあひながら読み聞かせをしていることがわかる。家庭での読書への関心の高さがうかがえる。「ほとんど読んであげていない」が5%である。保護者に読み聞かせをする大切さを伝えていくことが必要である。

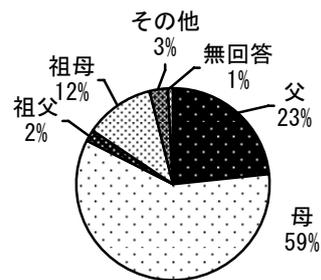


問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。) 〇はまる記号にすべて〇をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・祖父母(2)
 - ・姉(10)
 - ・兄(4)
 - ・叔母(2)

数値	割合
191	23%
481	59%
17	2%
95	12%
25	3%
6	1%
815	100%

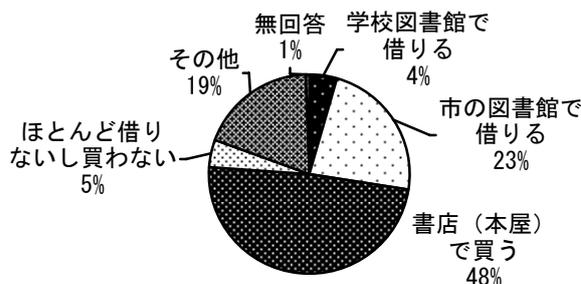
両親が読んであげている家庭が82%である。親子が読み聞かせでふれあっている。母親が育児にかかわることが多いので本を読んであげるのも多いのであろう。父親が23%と多いのは、父親の子育ての参加が積極的になってきたあらわれだろう。喜ばしいことである。祖父母が読んであげている家庭もありほほえましい。家族とのかかわりが子どもの読書好きに関係していることを伝えていく必要がある。



問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- ア 学校図書館で借りる
- イ 市の図書館で借りる
- ウ 書店（本屋）で買う
- エ ほとんど借りないし買わない
- その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・ もらう（親戚、知人等）（18）
 - ・ 毎月購入（23）
 - ・ 親戚からプレゼント（3）
 - ・ 保育園で借りる（7）
 - ・ 家にある本（17）
 - ・ 通信講座についてくる本（5）
 - ・ 兄弟が学校で借りてきた本（5）

数値	割合
23	4%
123	23%
256	48%
24	5%
100	19%
3	1%
529	100%

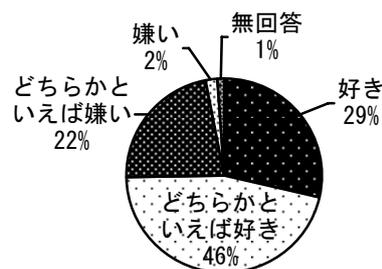


75%の家庭で、本を借りたり購入していることは、家庭での読書に対する関心が高いことがわかる。48%の家庭で子どもに本を買い与えている。いつでも子どもの身近に本があり、すぐ読みたい本が読める環境を望んでいるのだろう。「市の図書館から借りる」は23%である。図書館はより多くの子どもたちに本の紹介をするなど、さらなる図書館サービスのPRを進めていく必要がある。「ほとんど借りないし買わない」が5%である。家庭での幼い頃から本にふれさせることの大切さを知らせていく必要がある。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
152	29%
244	46%
117	22%
10	2%
6	1%
529	100%

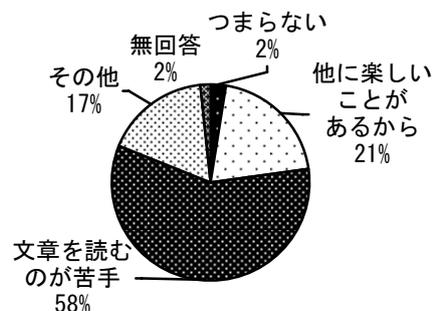


75%が「好き」、「どちらかといえば好き」と答えていることは心強い。しかし、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」が24%である。親にも本を読む楽しさ、素晴らしさを知ってほしい。親が本を読んでいる姿を見せることが子どもには大切である。子どもの読書に親の読書嫌いが影響しないような方策が必要である。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
- イ 他に楽しいことがあるから
- ウ 文章を読むのが苦手
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・時間がない(10)
 - ・忙しくて気持ちにゆとりがない
 - ・すぐ眠くなってしまう為

数値	割合
3	2%
26	21%
74	58%
22	17%
2	2%
127	100%

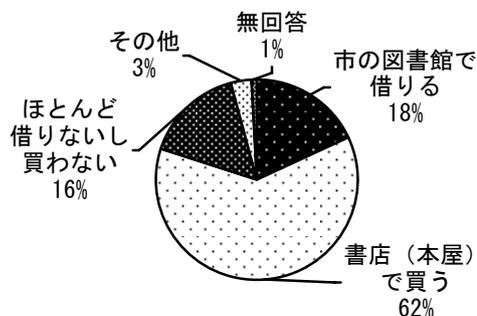


「文章を読むのが苦手」が58%、「他に楽しいことがあるから」が21%である。映像文化のなかで育った世代なので、本を読むことが楽しいという体験が少なかったのだろうか、子どもへの影響が気になる。本を読む楽しさ、素晴らしさを知ってほしい。興味のある内容で簡単な文章から読むことをすすめるなどの働きかけが必要である。

問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
- イ 書店（本屋）で買う
- ウ ほとんど借りないし買わない
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・祖母に借りている
 - ・人から借りる(2)
 - ・通販

数値	割合
96	18%
327	62%
84	16%
17	3%
5	1%
529	100%



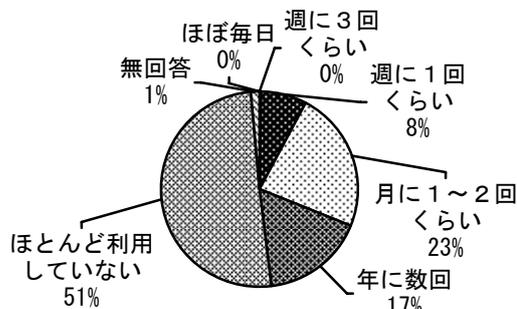
80%の人が本を借りたり、買ったりしていることは素晴らしいことである。その中で「書店で買う」が62%と多い。自分の本になり、返却期限を気にせず好きな本が読めるからだろう。「ほとんど借りないし買わない」人が16%である。この人たちは本を読んでいるのだろうか。まずは図書館で本を借りて読むことをすすめたい。

問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
0	0%
1	0%
40	8%
124	23%
89	17%
268	51%
7	1%
529	100%

「ほとんど利用していない」と答えた人が51%であった。子どもに手がかることや、騒いで動き回ったりするので公共の場所へは行きづらいつ感じているのではないか。図書館利用のマナーを教えるためにも、子どもと利用することをすすめたい。本と一緒に選んだり、読んだりして親子でふれあってほしい。図書館はブックスタート、保育所出前サービス開催時などにサービスのPRをして、図書館利用の働きかけをしていく必要がある。

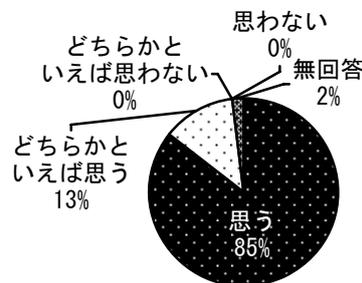


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
452	85%
66	13%
1	0%
0	0%
10	2%
529	100%

「思う」と「どちらかといえば思う」をあわせると98%が本を読むことを大切だと考えている。このような親の意識が本好きな子どもの多さにつながっていると思われる。これをさらに家庭での読書に反映させていくことが重要である。小さい頃から子どもと一緒に本を読み、家族で楽しむことにより子どもの読書習慣が育まれることを伝えていくことが大事なことである。

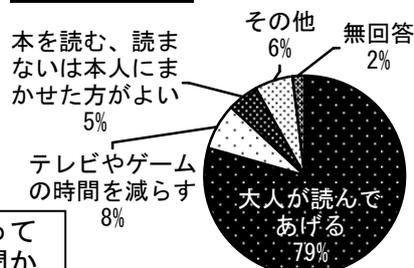


問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
 イ テレビやゲームの時間を減らす
 ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
 エ その他
 無回答
 合計

数値	割合
439	79%
42	8%
28	5%
34	6%
10	2%
553	100%

- その他の主な意見
 ・図書館や図書室に行く習慣をつける
 ・大人が読んでいる姿を見せる(5)
 ・興味のある物をテーマにした本を探す
 ・いつも身近な場所に本がある環境をつくる(4)



79%の人が読み聞かせは、子どもの読書に反映されると思っている。よって問3で84%の人が週1回以上、子どもに読み聞かせをしているのであろう。「本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい」という人がいるが、3歳での本とのかかわりが大切な時期であることを伝えていく必要がある。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

- ◎家庭にかかわること
 - ・読み聞かせをする(179)
 - ・本屋さん連れて行く、定期的に購入する(7)
 - ・図書館で本を借りたり、おはなし会等のイベントに参加する(53)
 - ・家族で本を読む時間をつくったり、読んだ本の感想等を聞く(44)
 - ・大人が読書をする姿を見せたり、本に関心を持つ(41)
 - ・子どもが興味のある本をすすめたり、たくさんの本にふれさせる(38)
 - ・本に接する読書環境をつくる(49)
- ◎保育所にかかわること
 - ・読書の時間をつくったり、先生が読み聞かせをする(8)
 - ・図書館を利用する、または図書館側が招待する(3)
 - ・図書室の設置
 - ・保育所や市などから、おすすめの本の一覧表を配布する(2)
- ◎図書館(公共)に関すること
 - ・図書館以外でも借りられるようにする(移動図書館など)
 - ・図書館の読み聞かせ(おはなし会)のPRを
 - ・小さい子どもは図書館で騒いでしまうので、子ども用の施設を別につくってほしい
 - ・おすすめの本(年齢にあった)の紹介、一覧表の配布(4)
 - ・おはなし会や、図書館に集まる機会を多くしてほしい(4)
 - ・おはなし会が毎週あり行きやすい
 - ・南アルプス市には図書館がたくさんあるので通いやすい
- ◎行政にかかわること
 - ・子どもの誕生、入園、小中学校入学時などの節目に、祝品として各年齢にあった推薦図書子ども一人一人に送る
- ◎その他
 - ・子どもが読書に興味を持つ環境づくりを、親がしてあげることが一番大切
 - ・子どもが本を選んだとき、親の価値観で意見を言うてはいけないと思う
 - ・本は娯楽であると割り切り、教養や知識を得るためなどと思わずに、まずは本を好きになるところから始める
 - ・読み手(大人)がその体験をすばらしく楽しいものであると子どもに伝えられるようにできれば良いし、聞き手(子ども)にとってもそれがワクワクドキドキするものであれば、必ず本が楽しいものだとして理解する
 - ・自分のしたい事、好きな事、調べたいことがあったら、本や教科書で調べるよう促す

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 小1保護者

平成22年7月実施

対象 市内小学校 1学年保護者
【八田・源・飯野・白根東・百田・芦安・若草・若草南・
小笠原・櫛形北・櫛形西・豊・落合・大明・南湖】

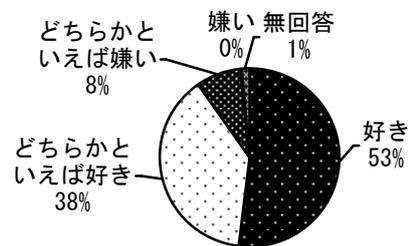
調査保護者数 458人
回答者数 380人 (うち父18人/うち母333人/その他2人/無回答27人)
回答率 83%

問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
197	53%
146	38%
31	8%
1	0%
5	1%
380	100%

「好き」「どちらかといえば好き」をあわせると、91%で保護者のほとんどが自分の子どもは、本が好きと回答していることは、大変喜ばしい結果である。家庭で子どもが日常的に本を読んでいることや読み聞かせ等が浸透している様子がうかがえる。「どちらかといえば嫌い」が31人、「嫌い」が1人の保護者は気になりながら子どもを見ているのであろう。

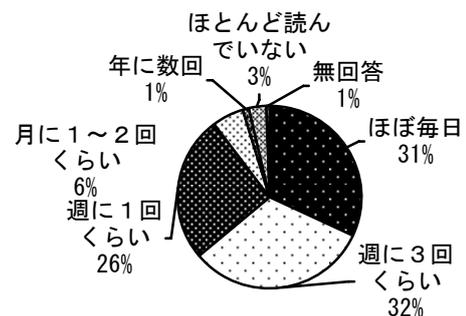


問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- 無回答
- 合計

数値	割合
121	31%
122	32%
98	26%
21	6%
4	1%
12	3%
2	1%
380	100%

週に1回以上読んでいる家庭が89%ある。小学生になり学校図書館等から本を借りることもでき、家庭で読んでいる様子がうかがえ大変喜ばしい結果である。しかし、「ほとんど読んでいない」と答える保護者もいる。学校では読んでいるが、家庭では読んでいない生活がうかがえる。小学校1年生でほとんど読んでいないというのは、幼児期の読書環境が関連してきているのではないか。家庭でたくさんの本を読む環境づくりを整えるためにも「うちどく（家読）」をすすめていきたい。

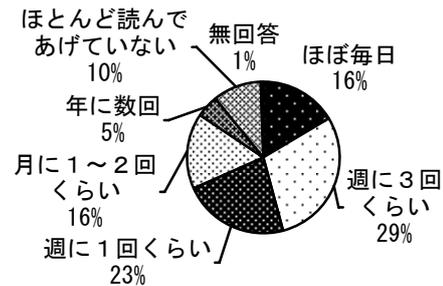


問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。)
 あてはまる記号に○をつけてください。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
62	16%
112	29%
86	23%
61	16%
18	5%
39	10%
2	1%
380	100%

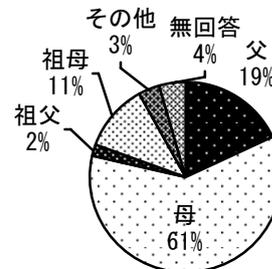
家庭での読み聞かせを行っている親が多く、その大切さを理解していることがうかがえる。忙しい日常の中で本をとおして、子どもとふれあいをもっている家庭が多いことは大変喜ばしい結果である。一方で、ほとんど読んであげていないという家庭が10%あるのは残念である。低学年のうちには幼児期と同じように読み聞かせをしてほしいものである。親に読んであげる良さを伝えていくことが必要である。



問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。)
 あてはまる記号にすべて○をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・ 姉、兄(12)
 - ・ 叔母、叔父(4)

数値	割合
94	19%
312	61%
11	2%
59	11%
18	3%
23	4%
517	100%

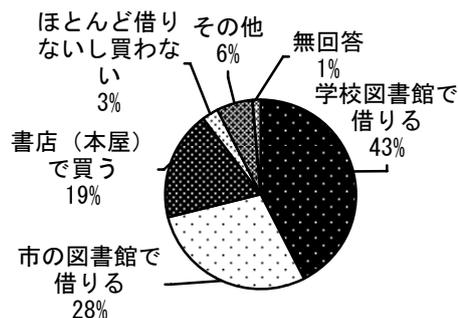


子どもにとっていちばん身近な大人である両親が読み聞かせをしている家庭が80%ある。また祖父母にも読んでもらっていることもわかり、家族みんなで子どもの読書にかかわっていることは喜ばしいことである。読書に関心のある家庭が多くあり良いことである。父母を比較すると、父親がもう少し子どもと接する場面(本読みを通して)を多くもってほしい。

問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- アイウエオ
- 学校図書館で借りる
- 市の図書館で借りる
- 書店（本屋）で買う
- ほとんど借りないし買わない
- その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・頂いた本(11)
 - ・自分が子どもの頃読んでいた本(4)
 - ・保育園、幼稚園の時に買った本(4)
 - ・定期的に購入(5)
 - ・毎月祖母が一冊プレゼント

数値	割合
162	43%
108	28%
71	19%
11	3%
23	6%
5	1%
380	100%

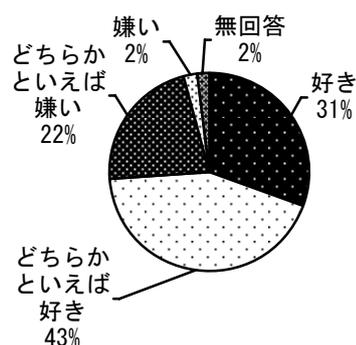


「学校図書館で借りる」「市の図書館で借りる」と答えた保護者が71%と高い数値である。「書店で買う」は19%である。3歳児では書店で購入することが一番多かったが、小学校は図書的时间など、学校図書館を利用する時間が確保されているので、利用が増えていると考える。やはり身近に本にふれる場所があることは大事である。少数ではあるが、「ほとんど借りないし買わない」という家庭があるのが気になる。ほとんど借りないし買わない子どもに本との出会いの橋渡しをしていく方策が必要である。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- アイウエ
- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえば嫌い
- 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
116	31%
165	43%
83	22%
9	2%
7	2%
380	100%



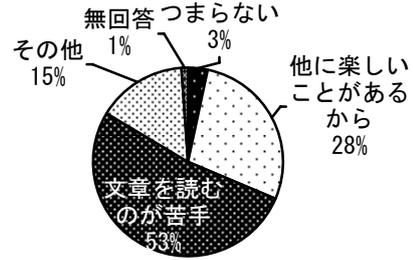
74%の保護者が「好き」または「どちらかといえば好き」と答えている。親の姿が子どもに反映されることを考えれば、喜ばしい結果である。身近な大人が本好きなことは、家庭での読書環境を整えるにも好都合と考えられる。「嫌い」「どちらかといえば嫌い」という親が24%いる。親が読書嫌いであれば、子どもも本に親しむことから遠ざかってしまうのではないか。子どもの読書に親の読書嫌いが影響しないよう、子育て世代の読書を支援する手だても考えるべきである。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
- イ 他に楽しいことがあるから
- ウ 文章を読むのが苦手
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・ 読んでいる時間がない(13)
 - ・ 目が疲れる
 - ・ ゆっくり読書する習慣がない
 - ・ 他にすることがある

数値	割合
3	3%
26	28%
48	53%
14	15%
1	1%
92	100%

53%の保護者が「文章を読むのが苦手」と答えている。これまでの経験の中で、読書の楽しさを味わえなかったことがうかがえる。また「他に楽しいことがある」と答えている保護者が30%近くいることは、保護者の生活も変わってきていることもうかがえるが、この層に対して図書館側としてどう対処していったらよいのか検討すべきである。保護者の姿勢が子どもの生活に影響を与えることから、読書についても保護者の苦手意識がとれるよう親子で絵本を読むなど、何らかの形で本の楽しさを知らせることが課題である。

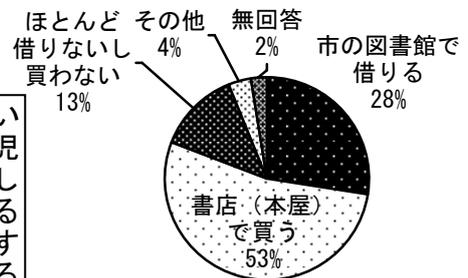


問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
- イ 書店（本屋）で買う
- ウ ほとんど借りないし買わない
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・ 人（友達）に借りる(6)
 - ・ インターネット注文(3)
 - ・ 携帯電話で読む
 - ・ リサイクル本

数値	割合
105	28%
202	53%
50	13%
14	4%
9	2%
380	100%

自分の本は書店で買う人が多い。図書館には満足していないということなのか。市の図書館を利用する保護者が、3歳児の保護者と比較して10%多くなっていることは大変喜ばしい結果である。子どもが小学校に通い学校図書館を利用するようになり、市の図書館へも子どもと一緒に借りに行きやすくなったのではないか。図書館には、子育て世代を応援する本やビジネス支援の本など生活に役立つさまざまな資料があること、また事業などを通じ、身近な公共施設として市の図書館の利用をPRしていく必要がある。さらに、「ほとんど借りないし買わない」という保護者は読まないのかある本を読んでいるのか気になる。読書の楽しさを知らせていく必要がある。

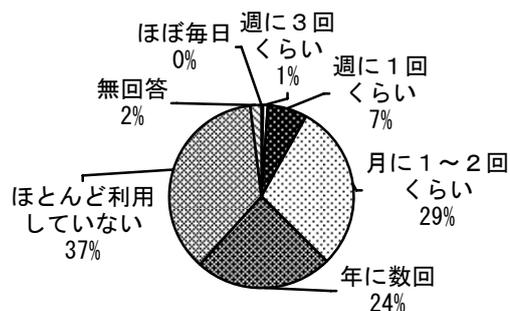


問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
1	0%
3	1%
27	7%
111	29%
92	24%
139	37%
7	2%
380	100%

ほぼ半数の保護者が市の図書館を利用している。しかし、「ほとんど利用していない」という保護者も37%とまだまだ多いのが現状である。勤めている人が多い世代なので仕方がないかもしれないが、図書館のサービスを充実させ、子どもと一緒に楽しめる図書館をPRしていく必要がある。また、3歳児と比べて「ほとんど利用していない」の数値が低いのは、ある程度子どもの手が離れ、図書館へ行きやすくなったからではないか。

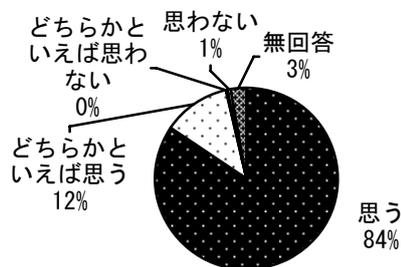


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
321	84%
45	12%
1	0%
2	1%
11	3%
380	100%

96%以上の保護者が読書の大切さを感じているので、それをいかにして子どもに反映させていくかが重要になっていくと思われる。保護者自身も子どもたちと一緒に本を読み、楽しさを共有することが大切であると考えている。この調査をきっかけに読書の大切さを見直せたらと思う。



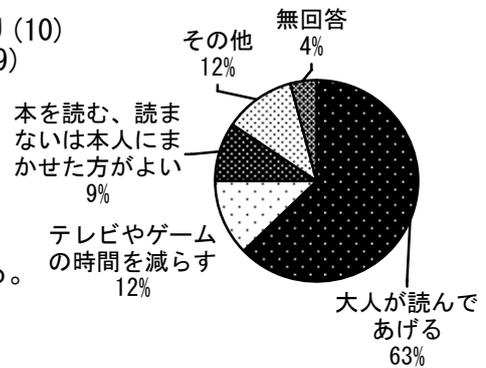
問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
- イ テレビやゲームの時間を減らす
- ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
- エ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
249	63%
48	12%
37	9%
46	12%
16	4%
396	100%

その他の主な意見

- ・ 興味がありそうな本を置いておく、環境づくり(10)
- ・ 大人も子どもと一緒に読書する時間をつくる(9)
- ・ 自分の好きな本を選ばせ興味を持たせる(5)
- ・ 大人が読んでいる姿を見せる(3)
- ・ 一緒に選ぶ(2)
- ・ 本の内容について話をする、理解を深める(2)
- ・ 図書館に頻繁に通う
- ・ 本を読むのを聞いてあげる
- ・ 借りたらほめる。借りた本(選んだ)をほめる。読んだらほめる。ともかくほめる。



「大人が読んであげる」という回答が63%である。読み聞かせの大切さを理解している人が多い。また、「読む読まないは本人にまかせた方がよい」という意見も少数あるが、小1の段階で本人まかせは、まだ早いのではないだろうか。低学年のうちには親のかかわりが必要なおきである。身近にいる大人が読み聞かせなどをして子どもに本の楽しさを知らせることが大切である。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

◎家庭に関すること

- ・読み聞かせをする(112)
- ・子どもと一緒に読書の時間をつくる(68)
- ・図書館に一緒に行ってたくさんの本に出会う、借りる(35)
- ・大人が読書している姿を見せる(24)
- ・いつでも身近に本を置いておく(17)
- ・本の楽しさを教える、実感させる(16)
- ・本について親子で会話をする(13)
- ・生活の中に本にふれる機会を多くする(11)
- ・子どもの興味のある内容の本をすすめる、用意する(11)
(マンガ本でも文庫本でも)(2)
- ・図書館や本屋に連れて行く(9)
- ・大人が本を読んで心に残っている本を子どもに紹介する(8)
- ・テレビやゲームの時間を減らす(7)
- ・子どもが本を読んでいるのを聞いてあげる(2)
- ・図書館のいろいろなイベントに参加する
- ・新たな世界を知り感動できるよう、普段の生活の中での親子の会話をたくさんする

◎学校に関すること

- ・学校で朝読書をするのはとても良い(10)
- ・子ども同士による読み聞かせ
- ・同年代の子どもと一緒に読むことが良いと思う
- ・学校で進めている家庭読書カードを作ったの活動や、良い本をクラスで順番に家庭に持ち帰り家族と読むなどの方法は大変良いと思う
- ・学校の授業や少しの時間でも読む時間があるなら、お友達と本について話す場をもっと増やす
- ・読書量の多い子に面白い本を紹介してもらおう
- ・読んだ本を記録する
- ・学校の図書室で借りた本の冊数を競わせるのはあまり意味がない
- ・教室に自由に読める本を置く

◎図書館(学校、公共)に関すること

- ・小さい頃から本に関心を持たせるように、親が気軽に参加できる朗読会があったら良い
- ・市立図書館の読み聞かせ講座を、本に興味のない人、図書館へ行く機会がない人達の集まる場所でも開催してほしい

◎その他

- ・子どもが興味のある本をすすめる、揃える(6)
- ・本の楽しさや大切さを教える、感じさせる(3)

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 小4 保護者

平成22年7月実施

対象 市内小学校 4学年保護者
【八田・源・飯野・白根東・百田・芦安・若草・若草南・
小笠原・櫛形北・櫛形西・豊・落合・大明・南湖】

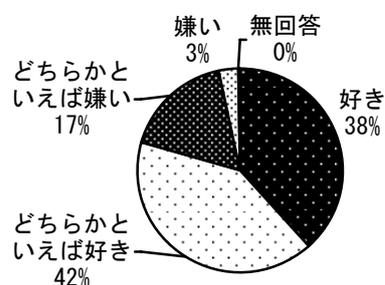
調査保護者数 477人
回答者数 429人 (うち父24人/うち母374人/その他4人/無回答27人)
回答率 90%

問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- オ 無回答
- カ 合計

数値	割合
164	38%
177	42%
74	17%
13	3%
1	0%
429	100%

80%の保護者が「好き」「どちらかといえば好き」と答えていることは大変喜ばしい結果であるが、子ども本人は96%が「好き」と答えている。親は家庭での読書状況で判断しているため、数値の違いがでてきたかもしれない。一方で「嫌い」「どちらかといえば嫌い」という子ども20%いる。多くの家庭で子どもが日常的に本を読んでいるが、一部に読書離れが始まってきていることがうかがえる。「どちらかといえば嫌い」と答える保護者が小1の結果より10%多くなっている。その要因に絵本のような短い物語からページ数の多いものになる時期ということもうかがえる。この時期の読書指導が大切になってくると考えられる。読書について親子で話し合う機会があってもいいと思う。

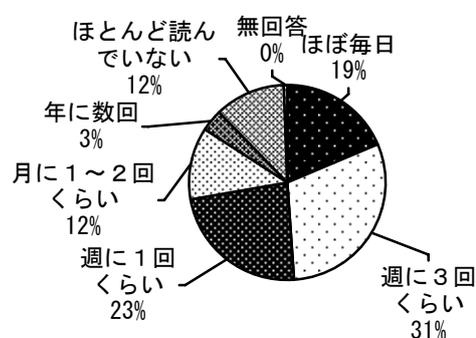


問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- ク 無回答
- コ 合計

数値	割合
80	19%
130	31%
100	23%
51	12%
15	3%
51	12%
2	0%
429	100%

子どもたちは家で本をよく読んでおり、その姿を保護者がよく見ている。毎日読んでいる子どもが19%もいることに感心する。子どもがほとんど読んでいないと思っている保護者が12%いる。1年生の頃に比べると、家庭で本を読む回数が減ってきている。中学年くらいから、本を読む子とそうでない子に、だんだん分かれてくるのではないか。「ほとんど読んでいない」と答えた保護者が12%いて小1の4倍になっている。中学年になり、忙しい家庭生活もうかがえる。学校での読書環境の整備と、家族一緒に本を読む、本の話をする、読書の時間を設けるなど、家庭で本にふれるためのきっかけづくりが必要である。

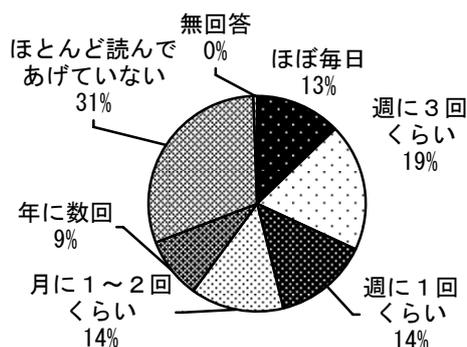


問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。)
あてはまる記号に○をつけてください。

- ア ほほ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
55	13%
82	19%
61	14%
59	14%
40	9%
130	31%
2	0%
429	100%

設問を過去ではなく現在ととらえて回答していることが見受けられるが、多くの家庭で子どもに本を読んであげていると思われ、親子の関係が良好であると考えられる。4年生でも本を読んでほしいと思っている子どももいるので、保護者から声をかけて、一緒に読む楽しさをあじわってほしい。「ほとんど読んであげていない」が31%と年齢が上がるにつれて増えている。これは中学2年生とほぼ同じ割合である。4年生前後で読み聞かせをしなくなるということだろうか。4年生になると本を自由に読めるようになってきているが、まだまだ読み聞かせができたらしめてあげてほしい。親子で同じ本を一緒に読むこともできる年齢であるのでその楽しさを伝えていきたい。

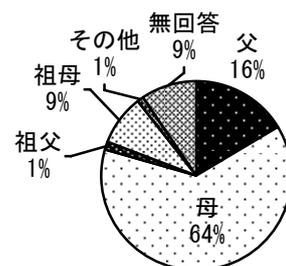


問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。)
あてはまる記号にすべて○をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
・兄、姉(2)

数値	割合
79	16%
307	64%
7	1%
42	9%
5	1%
46	9%
486	100%

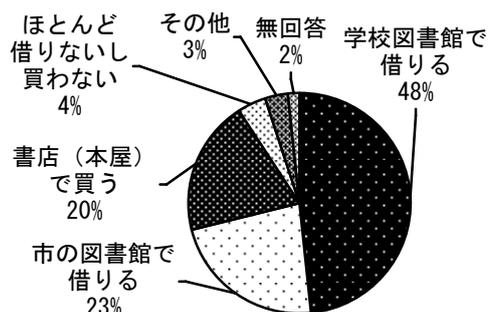
母親が64%、父親が16%と答えている。父親も子育てに参加しようという現代の風潮によるものだろうか。喜ばしいことであるが、父親と子どもが読書について語り合うことも必要である。もう少し父親の参加がほしいところである。両親のほかに祖父母も読んであげているのは喜ばしいことである。家族みんなで、子どもの読書にかかわっていることがわかる。



問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- ア 学校図書館で借りる
- イ 市の図書館で借りる
- ウ 書店（本屋）で買う
- エ ほとんど借りないし買わない
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・もらった本(5)
 - ・祖母、祖父からのプレゼント(2)
 - ・本を買う(2)
 - ・家にある本を読ませる(2)

数値	割合
207	48%
98	23%
85	20%
18	4%
14	3%
7	2%
429	100%

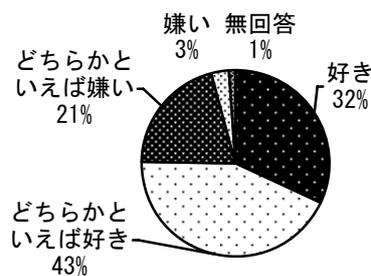


「学校図書館で借りる」「市の図書館で借りる」合わせて71%の家庭で図書館を利用していることがわかる。やはり身近に本にふれる場所があることは大事である。小1保護者の調査でもほぼ同じ結果がでている。特に「学校図書館で借りる」が半数近くで、学校図書館が身近な存在であることが分かる。学校は子どもの読書意欲に応える資料の構成や充実が必要である。「ほとんど借りないし買わない」と答えた3%の保護者は、成長したから子ども自身にまかせてもよいと考えているのかもしれないが、まだまだ保護者の関与が必要である。子どもと一緒に図書館を利用することをすすめたい。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
137	32%
186	43%
88	21%
13	3%
5	1%
429	100%

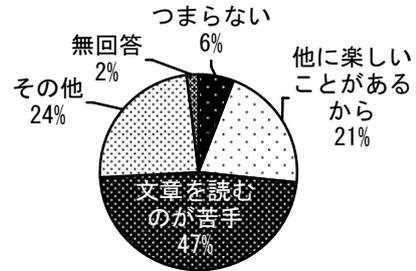


すべての年代において「好き」「どちらかといえば好き」を含めて75%もの保護者が好きと答えている。親の姿が子どもに反映されることを考えれば、喜ばしい結果で子どもたちにとっても幸せなことである。一方で、「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と24%の人が答えている。親が本好きであるかないかが、子どもの読書に大きく影響してくると思われる。「どちらかという嫌い」な人が21%いるが、本当に嫌いではないので、状況によっては好きになる可能性がある。子どもと一緒に本を読むことをすすめたい。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
 イ 他に楽しいことがあるから
 ウ 文章を読むのが苦手
 エ その他
 無回答
 合計
 その他の主な意見
 ・ 時間、暇がない(11)
 ・ 目が疲れる(3)
 ・ やる事がたくさんある(2)
 ・ 視力が弱く小さい文字は読みづらいから
 ・ 眠くなってしまうため
 ・ 読みたいものが分からない

数値	割合
6	6%
21	21%
48	47%
24	24%
2	2%
101	100%

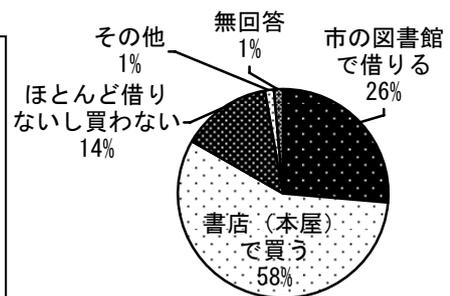


本を読むのが嫌いな理由が「文章を読むことが苦手」と答えた人が47%いる。読むのが苦手だから読まない。読まないからもっと文章を読むのが苦手になる。保護者に、子どもと同じ本を読むことや、優しい文章から読み始めることをすすめたい。「他に楽しいことがあるから」と答えた保護者に本の楽しさを味わってほしい。子どもの読書離れを防ぐためにも親への啓発活動が必要である。

問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
 イ 書店（本屋）で買う
 ウ ほとんど借りないし買わない
 エ その他
 無回答
 合計
 その他の主な意見
 ・ 子どもの通う学校の図書館

数値	割合
113	26%
244	58%
60	14%
6	1%
6	1%
429	100%



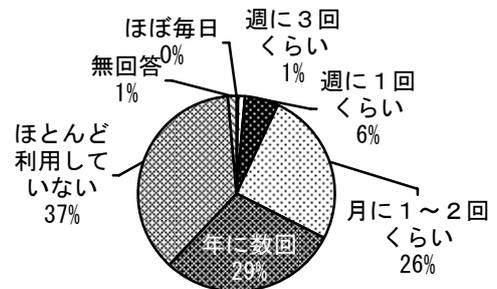
借りると購入するを合わせると84%もいる。多くの保護者が本を手に行っていることがわかる。市の図書館を利用する保護者が、3歳児の保護者と比較して10%多くなっていることは大変喜ばしい結果である。「ほとんど借りないし買わない」と答えた14%の保護者には、図書館では生活に役立つ様々な資料や情報を得られることをPRしていく必要がある。また、事業を通して来館のPRをし、図書館を身近な公共施設として利用してもらえようような方策を考える必要がある。

問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
1	0%
5	1%
24	6%
110	26%
126	29%
157	37%
6	1%
429	100%

市の図書館を利用している保護者が62%いることは頼もしい。反面「ほとんど利用していない」と答えた保護者が37%で、1年生保護者の割合と同じである。それぞれ事情があるかもしれないが、図書館は本を借りるだけでなく様々な利用の仕方があることを知らせ、気軽に利用できる公共施設としてのPRをしていく必要がある。また、子育て世代の若い親たちの読書を支援する資料を増やし、利用を促す手段を考えていくことも必要である。

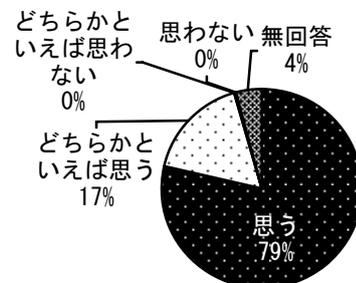


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
337	79%
73	17%
1	0%
0	0%
18	4%
429	100%

100%近くの保護者は、読書は大切と答えており意識は一致している。自身が本を読むのが「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えた人も本の大切さを感じているようである。これをいかに家庭での子どもの読書に結びつけていくかが重要になっていく。保護者自身が子どもたちと一緒に本を読み楽しさを共有することが、子どもが本に親しむための大きな影響力を持つことをあらゆる機会を通じて伝えていくことが大事だと考える。



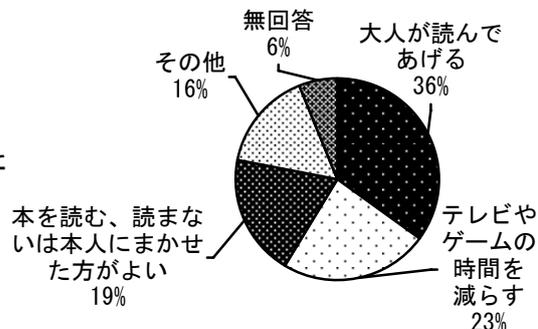
問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
- イ テレビやゲームの時間を減らす
- ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
- エ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
159	36%
106	23%
88	19%
72	16%
28	6%
453	100%

その他の主な意見

- ・一緒に本を読む時間や機会をつくる(20)
- ・興味の持てる本を用意する(13)
- ・親子で書店や図書館に行って本を選ぶ(9)
- ・大人が読む姿を見せる(7)
- ・親が本を読んで、楽しかった、役に立った経験を話す(9)
- ・よい本をたくさん与える(3)
- ・学校で朝、夕方読む時間をつくる(2)
- ・図書館の読み聞かせなどを利用する



1年生保護者と比べると「大人が読んであげる」が減少してきている。4年生になるともう読んであげなくても大丈夫と考える親が増えてきているのか。また、4年生はテレビやゲームに費やす時間が多くなっているのか、テレビやゲームの時間を減らすとよいと考えている親が1年生よりも増えている。4年生になっても本を読んであげることが時間を上手に使うことになることを伝えたい。「本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい」と答えた保護者が19%いる。まだまだ親のかかわりが必要なときである。読書についても同様に本人任せではなく親の手助けが必要な時期である。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

◎家庭に関すること

- ・一緒に本を読む時間をつくる(75)
- ・読み聞かせをする(54)
- ・子どもと一緒に図書館を利用する(39)
- ・子どもが興味を持っている本を見つける、与える(35)
- ・家族(大人)が読書を楽しんでいる姿を見せる(21)
- ・本に親しむ環境づくりをする(17)
- ・図書館や本屋に行く(18)
- ・子どもの手の届く所に本を置く(10)
- ・読書の楽しさ、大切さを伝える(13)
- ・どんな本を読んだか感想を聞いたり、会話をする(9)
- ・テレビやゲームの時間を減らす(6)
- ・まず親が読んでおもしろかった本を読んであげる、すすめる(7)
- ・本を読む習慣を身につけさせる(5)
- ・市立図書館の利用やイベントに参加する(4)
- ・読んだ本の感想を絵で表現したりする
- ・本人が読んで欲しいと言った時は必ず読む

◎学校に関わること

- ・朝読書、読書タイムを設ける、増やす(12)
- ・クラスや班で何冊かをまわし読みする(2)
- ・毎月1冊でいいので本の感想を書いて提出する(2)
- ・学校の朝読書、宿題の音読で十分かと思う(2)
- ・同じ年や年代の子どもと一緒に読む事が良いと思う
- ・学級文庫の充実
- ・読書週間など学校以外に本をどのくらい読んでいるか？調べる時期を持ち、本を自宅で読むように進める。
- ・学校の親子読書などで学校から回ってくると必ず読むのでよかった
- ・本の読み聞かせをたくさんしてほしい(学校で)
- ・自分のオススメの本を発表する時間をつくる

◎図書館(学校、公共)に関すること

- ・図書館で本を借りるとシールやポイントがもらえて「読書名人〇級」などがもらえる、年齢に応じて本の分類を増やす(バランスよくいろいろ読むため)など、図書館(各学校なども含め)ごとに行う

◎行政に関すること

- ・市の図書館をもっと増やしてほしい(少し遠いので行かない事が多いので)
- ・図書館を充実させる(予算をつける)

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 中2保護者

平成22年7月実施

対象 市内中学校 第2学年保護者
【八田・巨摩・御勅使・芦安・若草・櫛形・甲西】

調査保護者数 334人

回答者数 270人 (うち父19人/うち母227人/その他2人/無回答22人)

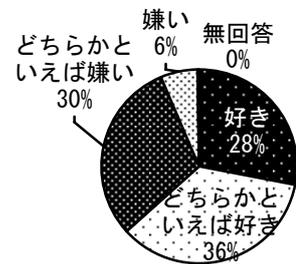
回答率 81%

問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
76	28%
95	36%
82	30%
16	6%
1	0%
270	100%

生徒の40%が本を読むのが好きと答えているのに対して、自分の子どもが本を読むのが好きと答えている保護者は28%である。中学生ともなると、親は子どもが本を読んでいる姿を見ることが少なくなってきたことがうかがえる。読書について親子で語り合う機会があると、このような意識の違いもなくなるのではないか。また、忙しい中学校生活の中で、小学校の頃より本を読む習慣が薄らいで、読書離れが進んでくるので、生徒の読書意欲を高めるような何らかの手だてが必要である。

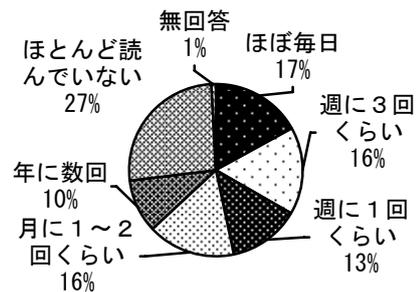


問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- 無回答
- 合計

数値	割合
46	17%
44	16%
36	13%
44	16%
27	10%
71	27%
2	1%
270	100%

ほぼ毎日読んでいるという生徒が17%いる。また週1回以上読んでいる生徒は46%である。忙しい中学校生活のなかで、家庭でも読んでいる姿がうかがえ嬉しい結果である。一方で「年に数回」「ほとんど読んでいない」と答える保護者が37%いる。家では読んでいなくても学校では読んでいるということも考えられるが、親子で共通の話題づくりとして読書を取り入れることなどをPRしていくことも考えられる。

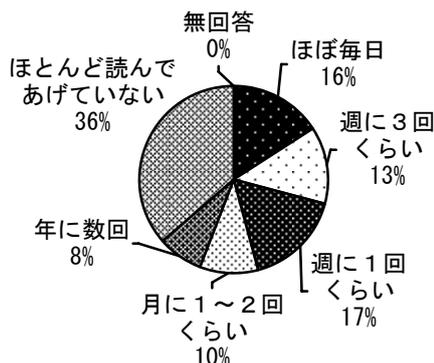


問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。) あてはまる記号に○をつけてください。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
43	16%
36	13%
45	17%
27	10%
21	8%
98	36%
0	0%
270	100%

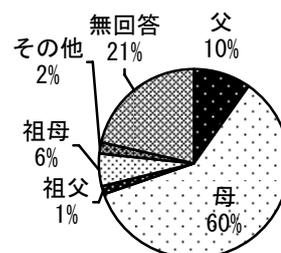
ほぼ毎日読んであげた家庭が16%である。親の読書に対する取り組みをみることができる。いかに子どもの成長に読書が大切であるかという考えのあらわれであろう。一方で、「ほとんど読んであげていない」という家庭が36%である。小さい頃は読んであげていたが、今はほとんど読んであげていないという家庭もあるだろう。忙しい中学校生活ではあるが、親子で一緒に読書を楽しむことを伝えていきたい。



問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。) あてはまる記号にすべて○をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・おば
 - ・姉(2)
 - ・兄(2)

数値	割合
26	10%
162	60%
4	1%
15	6%
5	2%
58	21%
270	100%

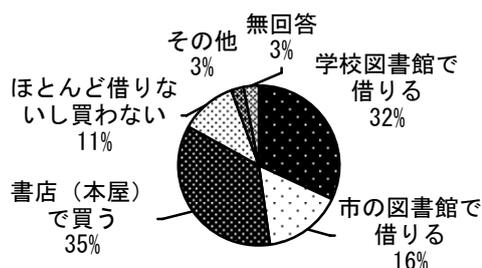


母親が60%、父親が10%と答えている。父親の参加がもう少しほしいところである。成長するにしたがって、父親とのかかわりが、子どもの読書の広がりや親子のふれあいへと結びつくと考えられる。少数だが祖父母もかかわってくれているのは、家族で読書に親しんでいることもうかがえ喜ばしい結果である。「無回答」が21%いるのは、子どもが小さい頃の記憶が薄れているせいなのか気になる。

問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- ア 学校図書館で借りる
- イ 市の図書館で借りる
- ウ 書店（本屋）で買う
- エ ほとんど借りないし買わない
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・友達から借りる
 - ・持っている本を読んだ(3)

数値	割合
86	32%
43	16%
95	35%
31	11%
7	3%
8	3%
270	100%

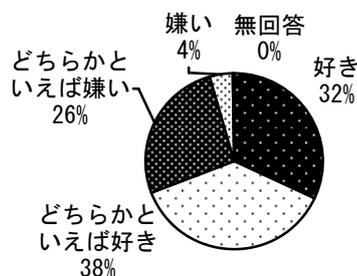


学校図書館や市の図書館で借りるという家庭が48%で約半数を占める。「書店で買う」という家庭も35%あり、中学生ともなると自分の興味関心のある本を見つけて購入するという傾向が見えてくる。成長したからといっても、まだまだ保護者の関与が必要である。子どもと一緒に図書館を利用することをすすめたい。学校図書館が一番身近な図書館として、また市の図書館は、学習や生活に役立つ資料をそろえている図書館としてPRしていく必要がある。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
86	32%
101	38%
71	26%
11	4%
1	0%
270	100%

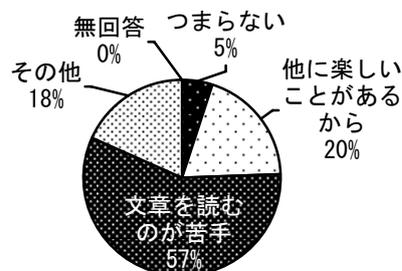


「好き」「どちらかといえば好き」と答えた保護者が70%であり頼もしく感じられる。家庭での読書推進の力となるであろう。一方で、「嫌い」「どちらかといえば嫌い」という保護者が30%いる。家庭の中で身近にいる大人が読書を楽しむ姿を見せないと、子どもも本好きにはならないのではないかと。親の読書に対する姿勢が子どもに大きく影響するので、親世代にも読書の大切さを伝えていく必要がある。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
- イ 他に楽しいことがあるから
- ウ 文章を読むのが苦手
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・仕事が忙しくて時間がない(6)
 - ・本を読むと目がいたくなる
 - ・活字を読むと眠くなる

数値	割合
4	5%
16	20%
47	57%
15	18%
0	0%
82	100%

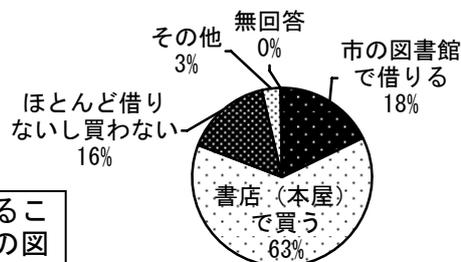


「文章を読むのが苦手」という保護者が57%であった。確かに文章を読むのが苦手だと思っていると読みたくない。文章がわかりやすい本を子どもと一緒に読むことから始めて、読書のおもしろさを体験してほしい。「他に楽しいことがあるから」と答えた保護者は20%であった。保護者の姿勢が子どもの読書に反映するので、親子で同じ本を読んで感想を話し合うなどして、読書の楽しさを味わってほしい。

問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
- イ 書店（本屋）で買う
- ウ ほとんど借りないし買わない
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・自分の為の本を読む時間がほとんどない
 - ・ケータイ小説を読む
 - ・通信販売
 - ・子どもに図書館から借りてきてもらう(2)
 - ・職場の図書館から借りる

数値	割合
48	18%
170	63%
42	16%
9	3%
1	0%
270	100%



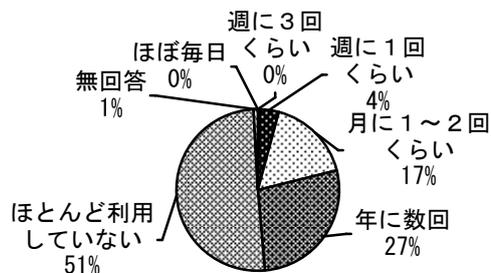
問5とあわせて考えると、子どもの本は市の図書館で借りることが多いが、自分の本は書店で買っているようである。市の図書館には、生活に役立つ資料や課題解決の資料など様々な資料があることなどをPRし、子どもの本を借りに来た時に、保護者にも本を借りていってもらうようにしたい。また、「ほとんど借りないし買わない」という人には、図書館を身近に感じられるようなPRを工夫し、利用を推進していく必要がある。

問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
0	0%
1	0%
10	4%
46	17%
74	27%
137	51%
2	1%
270	100%

月に1～2回以上利用している人が21%いる一方で、「年に数回」という人が27%、「ほとんど利用していない」という人が51%である。約半数の人が、ほとんど利用していないということになる。これらの人たちが市の図書館を利用してみようと思うようなPRや事業を工夫し、中学生の親世代の利用者の拡大を図っていくことが大切である。

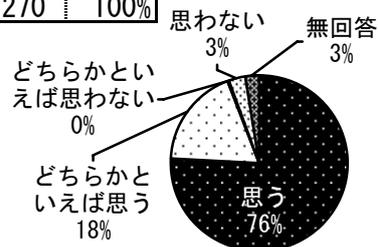


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
205	76%
49	18%
1	0%
8	3%
7	3%
270	100%

「思う」「どちらかといえば思う」が94%と、ほとんどの人が本を読むことの大切さを認識していることはとても心強い。それをいかにして子どもに反映させて家庭での子どもの読書に結び付けていくかを考える必要がある。保護者自身も子どもたちと一緒に本を読み、読書の楽しさを親子で共有することが大切である。



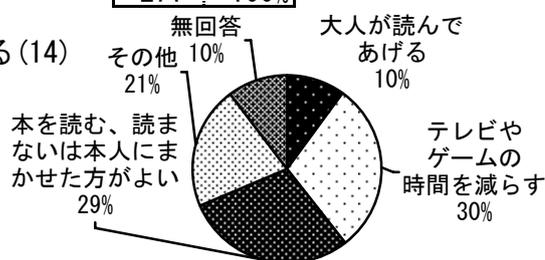
問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
 イ テレビやゲームの時間を減らす
 ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
 エ その他
 無回答
 合計

数値	割合
27	10%
80	30%
79	29%
57	21%
28	10%
271	100%

その他の主な意見

- ・本人の興味ある分野の本を用意する、教える(14)
- ・習慣にしないと続かない(2)
- ・読書の時間をつくる(親を含めて)(14)
- ・身近にたくさん本を置く
- ・身近な人がたくさん本を読む姿をみせる
- ・図書館に行く
- ・自分がいいと思った本をすすめる、語る(5)



3歳児・小学1年生では「大人が読んであげる」の割合が高く有効な手段と考えられているようだが、小学4年生では36%、中学2年生では10%となっている。逆に年齢があがるにつれて「本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい」の割合が高くなっている。読書に関することが、小学校中学年あたりから親の手を離れてしまうのだとしたら、幼い頃に本の楽しさを伝え、本に親しむ環境を作ることがとても大切なのではないだろうか。親子のふれあいづくりのひとつとして、子どもが今興味があること、読んでいる本などを共有することも必要である。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

◎家庭に関わること

- ・子どもにあった本、読みやすい本、興味のある本をすすめる、探す(37)
- ・自分にあった本を探させる(1)
- ・わからないことを本を使って調べるようにすすめる(1)
- ・読み聞かせをする(17)
- ・小さい頃から読書の習慣を身につける(3)
- ・親が読書をする(8)
- ・親が子どもと一緒に読書をする(6)
- ・読書体験を話す(感想等を共有する)(10)
- ・本に親しむ機会、環境(時間)をつくる(15)
- ・テレビ、ゲーム、ケータイ等の時間を減らす(親も含めて)(7)
- ・本屋や図書館に行く(11)
- ・中学で朝読書の時間ができてから、家で楽しく読書をする時間が増えてきている

◎学校に関すること

- ・学校で読書の時間をつくる、増やす(15)
- ・学校でいい本をすすめる
- ・学校図書館に漫画を置かない
- ・図書の出借が個人の競争のように行われるのは良くない
- ・人気ランキングをつくる、感想文を書く等をして興味を持たせる(2)
- ・図書だよりなど参考になる
- ・生徒に口コミでおもしろい本を広げてもらう
- ・学校図書館、市の図書館でポイントカードをつくる
- ・市の図書館を利用するように、学校図書館で年齢にあった(学級、学年)本の紹介(プリント配布等)をする

◎図書館(学校、公共)に関すること

- ・保護者が本を好きになり、必要性を感じ、子どもにとっていいものだと伝える(保護者教育)

◎行政に関すること

- ・身近な図書館を利用し、親子が読書を習慣付けられるようにする

市内読書施設に関するアンケート調査(保育所・幼稚園)

問1. お話の時間(読み聞かせ)を実施していますか? 実施していれば、だれが・いつ・時間はどのくらいですか?

施設名	いつ	だれが	時間
八田保育所	一斉保育中・午睡前・降所前	保育士	年齢により様々
巨摩保育所	午睡前・お帰前	月1回絵本(月刊)観察 保育士	10分~15分
白根保育所	午睡前・お帰前	保育士	30分くらい
百田保育所	食事前・午睡前・お帰前・保育中	保育士	15分程度
白根東保育所	朝・夕方	学級担任	30分
芦安保育所	午睡前・給食の前など	保育士	15分位
若草保育所	午睡前・降園時	担任	5~10分
櫛形中央保育所	月に1度(年令ごと)、読み聞かせの先生を招き、		30~40分
櫛形北保育所	早番の時間・午睡前・帰りの会	保育士	5~10分
櫛形西保育所	保育の中	クラス担任	10~15分
豊保育所	毎日	保育士	10~15分
落合保育所	朝・午睡前・降所前など	保育士	5~15分(年齢により異なる)
大明保育所	お昼寝前や夕方または午前中の活動の時など	保育士	1冊~5冊の時もあり、その時によって違う。
南湖第1保育所	保育中(一斉保育、午睡前・中、延長保育時)	保育士	20分位
南湖第2保育所	集会時・お昼寝前・帰りの会時	保育士	10分~15分
マコト愛児園	毎日の保育の中	保育士	10分×3~4回
たちばな保育園	午睡前・降園前など	各クラス保育士	10~20分(年齢に応じて)
十日市場保育園	毎日	保育士	15~20分
さくらんぼ保育園	お昼寝の時	保育士	12~30分
ポッポの家	午睡前、夕方混合保育	担任保育士 混合保育担当保育士	4・5才児(15分~20分) 2・3才児(10分) 0・1才児(5~10分)
小笠原幼稚園	午前又は午後の時間帯	保育士	30分位
御勅使幼稚園	保育の中	保育士	その時々に応じた時間

問2. 図書室や図書コーナーはありますか。あれば、名称、広さ、蔵書数、児童への貸出等記入してください。

	名称	広さ	蔵書数	児童への貸出(ある・ない)
八田保育所	ない			
巨摩保育所	名称なし	25㎡	400冊	ない
白根保育所	ない			
百田保育所	ない			

白根東保育所	名称なし 3.2㎡ 81冊 ない
芦安保育所	ない
若草保育所	図書コーナー 70~80冊 ない
櫛形中央保育所	ない
櫛形北保育所	絵本の部屋 18.4㎡(絵本コーナー4㎡) 350冊(各保育室にある) ない
櫛形西保育所	絵本コーナー5㎡ 550冊(各保育室にある) ある
豊保育所	おとぎのへや 6.61㎡ 300冊 ない
落合保育所	保育所図書コーナー 30㎡ 100冊 ある
大明保育所	玄関ホワイエの所 ホールの隅 各保育室
南湖第1保育所	お部屋の一角か廊下の一角に本棚(図書館の本と去年の購入分の本が入っている) 22冊 ない
南湖第2保育所	蔵書数60冊 各クラスの本箱に年齢ごとに分けて設置 自分の席で読む
マコト愛児園	1F玄関フロアー 59.42㎡ 約200冊 ない
たちばな保育園	「絵本コーナー」として設置 7.5㎡ 400冊ぐらい ある
十日市場保育園	あしざわ文庫 2.16㎡ 約100冊 ない
さくらんぼ保育園	図書コーナー 4.0㎡ 180~200冊(各クラスに30~100冊) ある
ポッポの家	園内に4ヶ所 年長児本棚 500冊 年中児本棚 200冊 年少児本棚 400冊 未満児室 100冊
小笠原幼稚園	キッズルーム 約40㎡ 約1,200冊 ある
御勅使幼稚園	ない

問3. 市立図書館をどのように活用していますか？

八田保育所	・時々子どもを連れて行き、司書の読み聞かせや好きな絵本を選ばせ個々に自由に見る ・毎月50冊の絵本を入れ替えてしていただき、保育士が読み聞かせをしている
巨摩保育所	・行事の時の絵本や紙芝居などを借りている ・散歩の途中で図書館によって紙芝居を見たり、本を借りたりする
白根保育所	個人的に活用している
百田保育所	行事に合わせて読み聞かせに来ていただいている
白根東保育所	おはなし会に来ていただいている
芦安保育所	芦安分館から毎月40冊位の絵本を貸り、保育所で活用している 芦安分館にて本を読んだり、工作教室や夏の映画等に参加している
若草保育所	各家庭で活用していると思う
櫛形中央保育所	2ヶ月に1度、図書館にある本を30冊ほど借りて子どもたちに与えている
櫛形北保育所	・絵本担当職員が毎月30~50冊絵本や紙芝居を借り、読み聞かせをしている ・誕生会や行事に大型紙芝居や大型絵本を借りて読み聞かせをしている ・図書館に園外保育として出かける
櫛形西保育所	・行事のときの資料活用 ・図書の借用

豊保育所	大型絵本、紙芝居など保育所に不足している図書を借り受けている
落合保育所	児童図書毎月30冊、紙芝居3冊を借り、子どもたちへの読み聞かせを行っている
大明保育所	保育所として今後借りていきたいと思っている。また、お散歩のときに行かせてもらおうと思っている。
南湖第1保育所	・毎月絵本の貸し出しに利用 ・ボランティアによる出前講座
南湖第2保育所	毎月1～2回利用して園児に読み聞かせをしている(絵本・紙芝居の利用)
マコト愛児園	・教材利用の場として活用している ・保護者、地域の人々、子育て支援センター利用者に「読み聞かせ」等の図書館の案内を紹介している
たちばな保育園	・今年度は年長児が図書館を訪問し、読書室等で読書・閲覧する機会を1、2度つくる予定である ・図書館の催し物のチラシの配布時、図書館へ出向くように勧める
十日市場保育園	・毎月のお話の時間に使用する紙芝居や絵本、CD等を借りる ・行事の時の出し物にエプロンシアター等を借りる
さくらんぼ保育園	大型紙芝居や絵本を借りる
ポッポの家	・保育士がまとめて借りてきて読んでいる ・園にない本や子どもたちが今興味を持っている内容の本をその時に借りる ・保育士自身が読みたいと思う本、逆にあまり借りたことのない本を選ぶ事もある ・年長児には、絵本から絵の少ない長編の本も読み聞かせをする
小笠原幼稚園	催し物等がある場合は、保護者に情報を知らせている
御勅使幼稚園	園としては利用していない

問4. 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

八田保育所	
巨摩保育所	
白根保育所	
百田保育所	1日に1回は絵本にふれるように、保育士が読み聞かせをしている
白根東保育所	特になし
芦安保育所	
若草保育所	なし
櫛形中央保育所	毎日一度は、保育士が読み聞かせをしている
櫛形北保育所	おたよりで保護者に絵本の読み聞かせの大切さを呼びかける 職員会議で絵本とのふれあいを再確認する
櫛形西保育所	本の読み聞かせ わくわくシアターの開催
豊保育所	毎年、誕生会等のイベント事業へ、市の図書館の「おはなし会」を園内でおこなってもらっている
落合保育所	毎日読み聞かせを行っているため、特別な取り組みは行っていない
大明保育所	特別読書の日というものはありません。日常の中で子どもたちが自然に絵本を手にとって楽しめる空間作りを意識している。また、子どもたちと一緒にたくさんの本と出会う時間を1日の中で必ずつくれるようにしている。
南湖第1保育所	特になし 今後取り組みたい

南湖第2保育所	毎日読み聞かせを実施しているので、特別にしていなくても、本を読むことに保育所全体で取り組んでいる
マコト愛児園	「読書週間」等の取り組みとしては、保護者に掲示などでお知らせするくらいで、普段の保育に絵本などを取り入れ、読み聞かせ等を行っている。読書週間だから特別に何かをやるという事は、行っていない。
たちばな保育園	・チラシ・ポスター・パンフレット等で知らせる ・毎日、何らかの形で絵本・お話等に触れる機会を作っている事と園行事等の折、童話や昔話等を演じる機会もあるので、読書週間に特別な事はしていない
十日市場保育園	日を決めていません。毎日、子ども達に本の読み聞かせの時間を作っている
さくらんぼ保育園	
ポッポの家	毎日子どもたちにも本を見る時間があり、とにかく手にとって見ているので、特に読書週間として意識していません
小笠原幼稚園	
御勅使幼稚園	

問5. 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

八田保育所	
巨摩保育所	年1回図書館で出前サービスに来てくれているが、もう少し回数が多いと、もっと興味関心がわくと思う
白根保育所	
百田保育所	各図書館での計画を立てたチラシを子どもたちに配布している。市内全体の図書館の計画が見られる用紙があると、利用する人にとってわかりやすいと思うし、利用しやすいと思う。
白根東保育所	短くて楽しい「出前おはなし会」、夕方30分ぐらいの「夕涼みおはなし会」、「方言でいいな、方言で読んだらこんなかんじの物語」などおもしろい企画があれば利用したい
芦安保育所	
若草保育所	・おはなし会の出張があれば来てほしい ・まだ小さく字も読めない子が多いので、保育士が読む機会(時間)を取り、読書(絵本)に興味を持たせている
櫛形中央保育所	読み聞かせ、読書をする事によって親しむ事を積極的にし、想像する力や言葉を学び、感性、表現力と想像力を高めるなど身につく事がたくさんある。保育所、家庭、地域で取り組む事が大切だと思っている。
櫛形北保育所	・子どもの生活の中に、習慣として読書活動の時間があることが大切だと思う。絵本を通して、色々な体験ができ、感動する心が育つと思う ・保育所でも、絵本とふれあう機会を多くしていきたいと思う
櫛形西保育所	・本年度より、小学校との交流で学校司書の先生の読み聞かせを園内で行っている ・年3回のわくわくシアターの開催をしている ・新刊図書の紹介も積極的に行っている
豊保育所	子どもにとって、絵本等が楽しく、たくさんのお話を伝えて教えるものであること。子どもが成長していく上で大きな影響を与える等保護者に知らせていくことが大切であると考えている。
落合保育所	保護者に絵本の世界のすばらしさを理解してもらうための取り組みを保育所と図書館で一緒になって行うことができたらいいですね

大明保育所	
南湖第1保育所	家庭でテレビ漬け、ゲーム漬けになりがちな現状、メディア漬けにならないよう今後も読書活動の推進をお願いします
南湖第2保育所	子どもの創造力、想像力を育むことが大切であるため、テレビ社会の子どもたちに保育所では、絵本、紙芝居を中心に取り組んでいる。当保育所では蔵書が少ないため、図書館を利用しているので、興味を持つ子が多くなり、落ち着いて見ることができるようになった。これからも利用して子どもたちにいろいろな話で知識を豊富にし、読書の楽しさを知らせていきたいと思う。
マコト愛児園	・絵本や児童書等の紹介などが、とても参考になるので継続してもらいたい ・何冊かでも良いので、施設に本を頂けると、とても嬉しい
たちばな保育園	
十日市場保育園	特にありません
さくらんぼ保育園	
ポッポの家	大人がどれだけ本と子どもを出会わせるかで、本が好きになったり、そうでもなかったりの部分が変わってくるのかな？と思う。ポッポの家の本はすぐにボロボロになり扱い方に問題があるかも知れないが、それだけ手にとって親しんでいると思っている。本を定期的に購入して(毎月5冊と少ないですが)補充している。毎日の絵本タイムが大好きで、よく見て聞いている。
小笠原幼稚園	
御勅使幼稚園	

市内読書施設に関するアンケート調査(小学校)

問1. 朝の読書タイムなど全校一斉の読書活動を実施していますか？実施していれば、いつ・時間はどのくらいですか。

学校名	いつ 時間
八田小	毎朝 8時25分～35分 10分間
白根源小	毎週月・火曜日 朝8時25分～40分 15分間
白根飯野小	毎朝 8時25分～35分 10分間
白根東小	毎週金曜日 8時30～40分 10分間
白根百田小	毎週火・水曜日 8時25分～40分 15分間
芦安小	毎朝 8時20分～30分 10分間
若草小	毎朝 8時25分～35分 10分間
若草南小	毎朝 8時20分～30分 10分間
小笠原小	毎週月～水曜日は読書、木・金曜日は学年ごとに詩写やことわざ、百人一首 始業前の10分間(8:20～8:30)
櫛形北小	毎週月・金曜日 8時30分～40分 10分間
櫛形西小	毎週月・火・木曜日 朝8時30分～40分 10分間
豊小	毎週月・火曜日の業前の時間(8:25～8:35) 10分間
落合小	毎週火曜日 8時25分～8時35分 ・読書月間中約1ヶ月
大明小	毎週火・木曜日 8時25分～35分
南湖小	毎週火・木曜日 8時20分～30分 10分間

問2. 全校一斉の読書活動を実施していない理由は何ですか。

※市内の小学校は全て実施している

問3. 学校では読み聞かせをしていますか？ 実施していれば、いつ・時間・対象学年・実施者数を教えてください。

	いつ 時間 対象学年 実施者数
八田小	<ul style="list-style-type: none"> 朝の読書活動の時間に学級担任による読み聞かせ(1,2年生は毎日) 学習ボランティアによる読み語り(学期に各クラス1回) 図書委員による読み聞かせ(月に1回1年から3年生) 図書の時間に司書から全学年へ読み聞かせ、ブックトークを実施
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> 図書の時間、1年生に司書(1人)が行う 学期ごとの朝の読書時間に各学年に全職員が行う 毎週金曜日昼休みに全学年対象に司書(1人)が行う 読書ボランティア(ききみみずきんおはなしの会)の方のおはなし会
白根飯野小	年間計画により、月に一度、教務も含め全職員が担任以外のクラスに読み聞かせに行く

白根東小	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度、全クラスで朝の10分間読書に職員による読み聞かせ ・各クラスの図書的时间(低学年のクラスを中心に)
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は毎週火曜日、2～6年生は学期に3～4回火曜日に職員が行う ・たてわり読書を6月に実施(たてわり班の6年生が班員に読み聞かせを行う)
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読に司書と読書ボランティアで各学年へ ・読書週間に職員が各学年へ ・年に一度児童が他学年へ(ブックリレー)
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者ボランティア…3. 6年週1回朝読書の時間(3年7人 6年6人) ・地域ボランティア…各学期毎各クラス1名 ・子ども読書の日 2～5年生各担任1回 ・秋の読書週間…担任以外の教師各クラス1回
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ・朝と図書的时间(国語) ・8:20～8:30 ・全校 ・実施者数…学校ボランティア2名、司書1名、学級担任13名
小笠原小	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では朝の時間等に行っている ・1～4年生は、朗読ボランティアききみみずきんの会のお話を聞いている
櫛形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに、朝の時間に職員が読み聞かせをしている(1学期は6回) ・各クラスの図書的时间に行っている
櫛形西小	<ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティアさんによる読み聞かせ 火・木曜日 朝8時30分～40分 1～4学年 6名 ・先生方による「読み聞かせ出張サービス」 6・7・12・1月の月・火・木・金曜日 朝8時30分～40分 全学年 栄養士・調理員・庁務員さんを除いた全職員 ・ききみみずきんおはなしの会によるおはなしの会 月に一度 午前10時25分～55分 全学年自由参加
豊小	<ul style="list-style-type: none"> 月、火曜日の業前の時間(8:25～8:35)10分間に全学年・クラスを対象に、全教職員20名と図書委員13名が読み聞かせを実施
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・火曜日の朝読書の時間に担任、読書月間中に教務と保護者ボランティア、図書的时间に司書がそれぞれのクラスに読み聞かせを行う ・年に数回、図書委員が希望者に紙芝居の読み聞かせを行う ・全校 ・教職員20名と図書委員11名
大明小	<ul style="list-style-type: none"> <図書委員の読み聞かせ>毎週火曜日1・2年生へ <司書による読み聞かせ>週1時間図書時間に全クラスへ <教師による読み聞かせ>読書月間(11月)朝読書の時間全クラスへ
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> <定期> ・毎週木曜の朝の時間(8時20分～30分、10分間)、図書委員当番制、1・2年生 ・読書月間の朝の時間(8時20分～30分、10分間)、教職員全員当番制、全校 ・学期ごと 1校時(45分間)、「ききみみずきんおはなし会」、1～3年生 <不定期> ・図書の時間、5～10分間、司書・担任、1～3年生

問4. 図書館や校内などでは、読書をすすめるための広報活動を行っていますか？実施していれば、内容を教えてください。

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だより ・PTA新聞による親子読書のよびかけ ・おすすめの本の展示
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりの発行 ・おすすめの本の展示 ・掲示物 ・図書集会
白根飯野小	<ul style="list-style-type: none"> ・読書月間におすすめの本の掲示 ・図書集会、図書館だよりなどを通して本の紹介
白根東小	<ul style="list-style-type: none"> 図書だよりを通して、新しい本などの紹介やうちどく(家読)の紹介をしている
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だより ・図書委員活動(紙芝居、図書集会、本の紹介) ・読書イベント

芦安小	・全校児童・職員のおすすめ本の紹介・図書だよりの発行 ・図書集会等での呼びかけ
若草小	・各学年に必読図書の設定・図書委員による委員会だより(年2回) ・読書週間に児童、教師のおすすめの本の掲示・としよだよりの発行
若草南小	・全校児童を対象に「おすすめの本」の募集・図書集会の実施・としよだよりの発行 ・読書週間の取り組み・図書委員による紙しばいの読み聞かせ(1年生対象)
小笠原小	・図書だよりの発行・図書委員によるおすすめの本の紹介など
櫛形北小	・図書館だよりで本の紹介・玄関に今月のおすすめの本の紹介、本の展示 ・先生方のおすすめ本(読書週間)
櫛形西小	・「図書だより」を月に一度発行(「新しい本の紹介」「おはなしの会のお知らせ」などを掲載)
豊小	・図書委員のおすすめの本の紹介・先生方のおすすめの本の紹介・図書だよりの新刊本等の紹介・図書委員会で読書まつりの計画を立て実施(春秋2回)
落合小	・図書委員によるポスター掲示・図書委員、先生方のおすすめの本の紹介 ・毎月の図書だより、利用指導の発行 ・図書委員会で読書月間を設定し、様々な取り組みを行う
大明小	・図書だよりの発行・委員会によるポスター作り・おすすめの本の掲示(全校)
南湖小	【展示・掲示】図書館内、児童玄関、廊下に図書やポスター(手作り含め)、資料と関連したものを飾る。おすすめの本(図書委員、教職員<読書月間>の紹介 【紙面・ホームページ】図書だより(「新しい本、季節のおすすめ本、ミニブックコーナー」の設置など)両面版にて発行。図書だよりをPDFファイルにしホームページに掲載 【校内放送】図書行事など、図書委員が不定期に放送。図書委員によるおすすめ本の紹介は、テレビ校内放送を使い、図書委員が全校に向けて発表

問5. 学校では、市立図書館をどのように活用していますか？

八田小	調べ学習に必要な資料の貸借
白根源小	調べ学習などで必要な資料の相互貸借
白根飯野小	授業や校外学習などで必要な本のうち校内にない本を借りる
白根東小	・社会科見学(3年生)・各教科で必要になった資料を借りる
白根百田小	授業(調べ学習など)で必要な資料を借りる
芦安小	授業等で校内に蔵書のない資料を借りる
若草小	・授業で必要な本が学校にない時・大型本を使用する時 ・親子読書に複数冊本が必要な時
若草南小	・図書集会で使用するパネルシアターなどの借り入れ ・本校にない図書がある時の借り入れ
小笠原小	不足資料を借りる
櫛形北小	・授業等で不足の資料を借りる・読み聞かせの大型本を借りる
櫛形西小	調べ学習で、複数本が必要なとき
豊小	授業等で使用する資料を借りる
落合小	・教科、調べ学習で使用する資料、パネルシアター等の借り入れ ・司書の方へレファレンス等の相談
大明小	不足資料を借りる

南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・授業資料(教育課程、調べ学習)、親子読書の複本などの団体貸出 ・選書のための情報収集、相談 ・読み聞かせ、パネルシアターの見学、相談
-----	--

問6. 日頃、学校図書館を利用してもらうためにどのような事を実施していますか？

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ・書架の整頓 ・季節にあった本の展示 ・雨の日読書 ・雨の降った日の中休み ・昼休み、視聴覚室で図書委員による読み聞かせ ・雨の日プラス1冊(雨の降った日の中休み・昼休みは借りられる冊数を1冊増やす) ・図書だよりの発行 ・30冊ごとにプラス1冊券プレゼント
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりの発行 ・図書集会 ・おすすめの本の展示 ・職員、読書ボランティアによる読み聞かせ ・掲示物 ・教科別リストの作成 ・図書館環境整備 ・パスファインダーの作成
白根飯野小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員の読み聞かせ活動 ・読書月間の取り組み(秋) ・先生方の読み聞かせ ・ ・図書館だよりの発行 ・予約リクエストの活用
白根東小	年2回の読書週間中に、ビンゴカード、すごろくなどの取り組みを行う
白根百田小	・図書だよりで呼びかけ ・読書集会での呼びかけ ・読書イベントなどの実施
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書集会でよびかけ、おすすめ本の紹介 ・季節やテーマにあわせた本の展示 ・朝読への参加
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん読んでいる児童にプラス1冊券やしおりをプレゼント ・必読図書を読んだらし ・おりをプレゼント ・予約リクエスト ・授業中の読み聞かせ、ブックトーク、アニメーション ・図書委員会の紙芝居 ・読書週間と読書集会を行う
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん本を読んだ児童にしおりをプレゼント ・予約リクエスト ・図書の時間の読み ・聞かせ ・図書集会、読書週間を行う ・図書委員による紙しばいの読み聞かせ
小笠原小	・おたよりで呼びかけたり、掲示の工夫 ・図書委員から全校への呼びかけ
櫛形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん読んでいる児童にプラス1冊券やしおりのプレゼント ・図書館内の本の整理
櫛形西小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間に読み聞かせをした作者の本を紹介 ・キーワードを決め、関連の本を紹介する
豊小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員による紙しばいの読みきかせ ・おすすめの本の紹介と掲示 ・たくさん本を読んだ児童にしおりとプラス1冊券のプレゼント ・読書まつりの実施(年2回) ・読書記録カードの配布
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員による活動(紙芝居、ポスター作成、クイズ大会、ポイントカードの発行等) ・読んだ冊数に応じてしおりプレゼント ・夏休み、冬休みに読書がんばりカードの配布 ・読書の時間に読み聞かせ、ブックトーク、アニメーション他
大明小	・図書の時間の設置 ・掲示物の工夫
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりに、展示・掲示の工夫(なるべく児童、図書委員も参加できるよう心がけ) ・読書イベント実施(年2回 読書月間、子ども読書週間) ・多読の奨励(貸出冊数30冊ごとにしおりをプレゼントし、児童の名前をクラスごとに貼り出す)

問7.「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 春のこどもの読書週間(4月27日～5月12日) ・ 貸出冊数3冊(このうち1冊は家族と楽しむことができる本) ・ 期間中に20冊借りることができた児童にしおりをプレゼント2枚(家族用1枚) ■ 読書週間(秋)の取り組み(平成21年度) ・ おすすめの本紹介カード(各クラスへカードを配布。自分が読んだ本の中で紹介したい本をカードへ書き、完成したカードを図書室で掲示する。カードを持ってきてくれた児童にプラス1冊券をプレゼント) ・ 低学年30冊、高学年20冊以上読んだ児童にしおり、プラス1冊券のプレゼント ・ 朝の読書の時間に図書委員による1～3年生への読み聞かせ、4～6年生へのブックトーク ・ 貸出冊数5冊まで ・ 教職員による読み聞かせ(3日間、クラス担任以外の教職員を割り振り、朝の読書の時間に読み聞かせを行う)
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書週間中は毎日3冊貸出 ・ 図書集会 ・ くじ引きでもう1冊貸出のプレゼントやしおりのプレゼントを行う
白根飯野小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館だよりで紹介、掲示 ・ 読書週間にあわせておすすめの本を使った取り組みを実施
白根東小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員による読み聞かせ ・ 読書ビンゴカード ・ 読書すごろく ・ 貸出冊数を増やす
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書集会 ・ 普段より多めの冊数貸出と借りに来たら1冊券プレゼント
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が地域の方々へおはなし会を実施 ・ 児童、職員がおすすめ本カードを作成し掲示する ・ 職員による読み聞かせ
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子ども読書週間 ・ 1年生と6年生による2人1組での読み聞かせ ・ 子ども読書の日を全校一斉読み聞かせの日とし、ボランティアや担任による読み聞かせ ・ クラスや学年全員が同じ本を読む一斉読書 ・ 3年生以上は読書ビンゴ ■ 読書週間 ・ 図書集会 ・ ボランティアによるお話し会 ・ 児童教師のおすすめの本の掲示 ・ 2人1組での読み聞かせ ・ 担任以外の教師による読み聞かせ ・ 読書パズル
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 読書週間 ・ 図書集会 ・ 図書委員と先生の「おすすめの本の紹介」を掲示 ・ 担任以外の先生方の読み聞かせ ・ 普段より1冊多く貸出
小笠原小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員、先生の「おすすめの本の紹介」を掲示する ・ 全児童が「おすすめの本の紹介」を書く
櫛形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方の「おすすめの本の紹介」を掲示 ・ 図書委員会によるミニ集会 ・ 全児童が「おすすめの本」を書く
櫛形西小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員が描いたイラストを「しおり」にして、全校に配布 ・ 図書委員によるおはなしの発表(紙芝居、ペープサート、中型本の読み聞かせ) ・ おすすめの本をイラストなどで紹介する
豊小	<ul style="list-style-type: none"> 読書まつり(秋)を読書週間にあわせて実施する
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子ども読書週間…貸出冊数の増冊、図書だよりでPR ■ 読書週間…読書月間を設定し様々な取り組みを行う
大明小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員による集会 ・ 全教師参加の読み聞かせ
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館だよりにて「子ども読書週間」「国民読書年」を紹介 ・ 貸出冊数を期間中3冊へ変更 ・ 読書週間とし、特別イベントを行う(しおりプレゼント、国際子ども図書館のセット貸出を期間中展示し、図書館クイズを実施)

問8. 司書教諭の持時数は1週間にどれくらいですか？また、そのうち図書に関係する持時数も教えてください。()で記入。

八田小	24.6 時間(1.3 自分のクラスの図書の時間、委員会)
白根源小	12学級以下なので、司書教諭発令がされていない
白根飯野小	0時間
白根東小	23時間(1)
白根百田小	0時間。
芦安小	配置なし
若草小	25時間(1)司書教諭兼任
若草南小	27時間(0)司書教諭兼任
小笠原小	25時間(1)司書教諭兼任
櫛形北小	
櫛形西小	12学級以下なので、司書教諭発令がされていない
豊小	12学級以下なので、司書教諭発令がされていない
落合小	12学級以下なので、司書教諭発令がされていない
大明小	12学級以下なので、司書教諭発令がされていない
南湖小	0時間

問9. 司書教諭の現状と課題などを教えてください。

八田小	学級担任としての仕事が主で、司書教諭としての仕事は司書にたのんだり、相談する程度になっていること
白根源小	
白根飯野小	
白根東小	本来であれば教育課程に基づいて、各学年に図書の活用法等を提案すべきなのだが、自分のクラスの授業に手いっぱいなかなか活発な提案ができずにいる。今年度は司書と協力して、パスファインダーを各学年に提案しているが更に図書の活用法を広めていくには、その提案資料等を作成する時間を確保することが課題である。
白根百田小	
芦安小	
若草小	図書館主任と司書教諭を兼務しているので、司書教諭としての仕事は何もできないのが現状
若草南小	現在は学級担任と司書教諭を兼任しているが、それは司書の先生がいるからできることだと思う。現状維持が必要
小笠原小	担任をしているので、あまり関われない
櫛形北小	
櫛形西小	
豊小	
落合小	

大明小	
南湖小	本校に司書教諭(免許を持っている先生)は1名いるが、その先生は体育主任をしており、図書館運営・委員会活動に参画することはできない現状である 司書教諭の専門性をうまく活かせるよう環境を作らないといけないと感じる

問10. 選書は、誰がどのように行っていますか？

八田小	職員、児童へ購入図書希望をとり、司書教諭、司書により選書
白根源小	5月頃に、希望図書の調査をし、全校児童と全職員の希望をもとに司書が選書している
白根飯野小	年度初めに全校と全職員の希望図書の調査を行うほか、随時リクエストを受け付けている。その結果をもとに、司書教諭と司書が相談して選書している。
白根東小	司書を中心に、司書教諭が教科で必要な本を司書に提案している
白根百田小 芦安小	教職員・児童からの希望を受け司書が行う
若草小	教師や児童のリクエストを聞き、主に司書が選書している
若草南小	教職員や児童の希望を聞き、司書が選書している
小笠原小	司書の先生(年度初めに先生方からも本をつのっている)
櫛形北小	司書の先生が職員の要望なども聞き選書している
櫛形西小	・司書が主に行っている ・司書の先生方でまとめた「おすすめの本」の冊子を参考にしている ・学校の先生がすすめてくれた本、児童がリクエストした本、読書ボランティアさんが読んだ本を参考にしている
豊小	先生方の希望や子どもたちの希望を聞いて司書が選書を行う
落合小	・先生方の希望、子どもたちからのリクエストを参考に司書が選書 ・蔵書の状況をみながら司書が選書
大明小	先生方の希望や子どもたちの希望を聞いて司書が選書を行う
南湖小	【児童】年4回(読書週間、夏休み、読書月間、冬休み)に図書館内にリクエストボックスを設置 【教職員】年度初め、2学期に全職員の希望図書の調査を行い、随時リクエストを受け付ける。その結果をもとに司書を中心に選書を行う。教科で必要な本を図書館主任が提案している。

問11. 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

八田小	市立図書館でしている「おはなし会」によく行く子や図書館のおまつりを楽しみにしている子がいるので、今後も継続して行ってほしい
白根源小	
白根飯野小	
白根東小	子どもたちにとって本が身近にあり、本を手にする機会、読み聞かせの機会が多いほど、読書活動は進むと思う。中央市のような小学1年生を対象にした本のプレゼント活動や各学校への読み聞かせボランティア派遣などが進むとよい。
白根百田小	子どもだけでなく親への呼びかけも家庭での読書に繋がる

芦安小	市内の子ども達へ平等に資料提供ができるよう、公共図書館と学校図書館との連携が大切
若草小	
若草南小	専任の学校司書が、これからもぜひ必要
小笠原小	
櫛形北小	
櫛形西小	
豊小	
落合小	おすすめの本の紹介などしていただいているので、自分が子どもたちに読むときに選びやすくありがたい
大明小	
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・予算をしっかりと、本を購入する ・家庭の読書力(読書をする環境)を高めていく ・市立図書館との連携

市内読書施設に関するアンケート調査(中学校)

問1. 朝の読書タイムなど全校一斉の読書活動を実施していますか？実施していれば、いつ・時間はどのくらいですか。

学校名	いつ	時間
八田中	7月と12月に1週間程度	10分間
白根巨摩中	通年	10分間
白根御勅使中	通年	10分間
芦安中	通年	10分間
若草中	期間を決めて実施	10分間
櫛形中	通年	10分間
甲西中	通年(朝の学活前)	10分間

問2. 全校一斉の読書活動を実施していない理由は何ですか。

※市内の中学校は全て実施している

問3. 学校では読み聞かせをしていますか？実施していれば、いつ・時間・対象学年・実施者数を教えてください。

	いつ	時間	対象学年	実施者数
八田中	特にしていない。			
白根巨摩中	読書集会	年1回	50分	全校
白根御勅使中	特に実施していないが、図書館で支援学級を支援する際、司書が必要に応じて行っている			
芦安中	・朝読書に司書が各学年へ ・読書週間に全職員が各学年へ			
若草中	・読書週間中昼の放送を使い図書委員が朗読 ・図書室での自習時に司書が行う			
櫛形中	学校というよりは、各教科や担任が授業その他の場面で行っている状況			
甲西中	司書は1年生オリエンテーション時に、各担任は一斉読書時に行っている			

問4. 図書館や校内などでは、読書をすすめるための広報活動を行っていますか？実施していれば、内容を教えてください。

八田中	・図書だよりの発行 ・図書委員会による本の紹介(掲示、図書委員会だよ) ・長期休み前の特別貸出
白根巨摩中	・図書だよりの発行 ・読書集会の実施 ・夏、冬休み前の特別貸出のイベント活動
白根御勅使中	・図書館だよりの発行 ・学期ごとの一斉読書の実施 ・夏、冬休み前の特別貸出
芦安中	・図書だよりの発行 ・朝読書で本の紹介 ・長期休み前の特別貸出

若草中	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だより(生徒用、教師用)の発行 ・図書委員会活動(図書新聞、おすすめの本の紹介、未利用者ゼロキャンペーン呼びかけ)
櫛形中	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だよりの発行 ・一斉読書(1年生) ・おすすめ本ポスター(学園祭) ・図書委員会の活動で朝読のページ数集計
甲西中	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だよりの発行 ・図書館内の生徒の目的に沿った紹介コーナー設置 ・図書委員のおすすめ本ポスター作成

問5. 学校では、市立図書館をどのように活用していますか？

八田中	学校図書館にない本を借りる
白根巨摩中	<ul style="list-style-type: none"> ・授業などで必要とする資料の貸出を依頼して活用 ・レファレンスサービスの回答を依頼して活用 ・職場体験活動を希望する生徒の受入先として活用
白根御勅使中	<ul style="list-style-type: none"> ・相互貸借 ・職場体験
芦安中	授業等で校内に蔵書のない資料を借りる
若草中	授業などで必要な資料を借りる
櫛形中	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な本を借りる ・職場体験
甲西中	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡、連携をはかり活用 ・授業などで必要とする資料の貸出を依頼して活用 ・職場体験

問6. 日頃、学校図書館を利用してもらうためにどのような事を実施していますか？

八田中	国語、社会、総合の時間等の図書館の利用
白根巨摩中	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に沿った資料の展示 ・学校独自の推薦図書の選定 ・図書以外の資料の収集と整備
白根御勅使中	テーマ、季節に合った資料の展示、紹介、広報
芦安中	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展示 ・要望があった資料の収集、購入 ・書架等の整備
若草中	<ul style="list-style-type: none"> ・資料整備 ・季節にあった掲示物 ・テーマ展示
櫛形中	司書による図書館の本の展示の工夫や広報
甲西中	<ul style="list-style-type: none"> ・教科利用の呼びかけ ・テーマ、季節に合った資料の展示、紹介

問7. 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

八田中	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時に文学作品等のCDを放送する ・朝読書(全校一斉読書)を実施する
白根巨摩中	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども読書の日、子ども読書週間…本を借りた生徒に、しおりをプレゼントして読書活動の促進を図る取り組み ■読書週間…10月に読書集会を行い、読書活動の活性化を行う取り組み
白根御勅使中	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数を増やす ・学校独自のおすすめの本の展示、紹介 ・オリジナルしおりのプレゼント
芦安中	おすすめ本の紹介

若草中	・おすすめの本の紹介 ・しおりのプレゼント ・多読者表彰 ・貸出冊数を増やす ・図書委員会の取り組み
櫛形中	個人への貸出し冊数を増やす
甲西中	貸出冊数を増やす

問8. 司書教諭の持時数は1週間にどれくらいですか？また、そのうち図書に関係する持時数も教えてください。()で記入。

八田中	司書教諭の配置なし
白根巨摩中	20時間(0)
白根御勅使中	司書教諭の配置なし
芦安中	司書教諭の配置なし
若草中	20.8時間(0)
櫛形中	19時間 (1) 今後1時間を確保できる見通しである
甲西中	20時間(0)

問9. 司書教諭の現状と課題などを教えてください。

八田中	司書教諭の配置なし
白根巨摩中	学級や教科、部活などに手いっぱいになってしまい、司書教諭としての役割を果たすことができていない
白根御勅使中	司書教諭の配置なし
芦安中	配置なし
若草中	司書教諭としての役割を果たす環境が整っておらず、またその職務への意識が低い
櫛形中	・他の分掌とのかねあいでの司書教諭としての役割がなかなか果たせない ・司書のおかげでかなり図書室の運営ができるのでありがたい ・司書と協力して授業を行うようにしたい
甲西中	司書教諭としての仕事をする時間がない

問10. 選書は、誰がどのように行っていますか？

八田中	生徒、教職員の希望をとりながら、学校司書を中心に行っている
白根巨摩中	司書が、教育課程に沿ったものを基本として、教職員や生徒からの購入希望を受け入れながら行っている
白根御勅使中	教職員や生徒の購入希望をとり、図書館主任に相談しながら司書が選書をしている
芦安中	教職員や生徒からの希望を受け司書が行う
若草中	教職員、生徒の要望に沿って司書が行っている
櫛形中	司書、その他先生方の意見を聞いて行う。生徒からのリクエスト本を受けて妥当であれば購入する。
甲西中	教職員、生徒の要望に沿って司書が行っている

問11. 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

八田中	子ども達は本来読書が好きである。時間と場所さえ確保することができれば、活発な読書活動が期待できる
白根巨摩中	学校、市立図書館、教育機関、家庭等の連携により、子どもの主体的、意欲的な学習活動や読書活動が充実していけばよいと思う
白根御勅使中	市内の公共図書館、学校図書館がネットワークで結ばれ、より充実した資料の提供が可能になってきていると思う
芦安中	市内の子ども達へ平等に資料提供ができるよう、公共図書館と学校図書館との連携が大切
若草中	このアンケートの結果をうけて考えて行きたい。公共図書館、学校がさらに連携していけたら、良いと思う
櫛形中	部活等で忙しい生徒たちだが、公共図書館のいろいろなイベントにできるだけ参加するよう呼びかけたい
甲西中	場を与えること。活字に慣れ親しむことにより、子どもは読書に親しんでいく。生徒も教師もカリキュラムにもう少し余裕があればもっと読書活動をすすめていけるのではないかと考える。

市内読書施設に関するアンケート調査(児童館)

問1. お話の時間(読み聞かせ)を実施していますか? 実施していれば、だれが・いつ・時間はどのくらいですか?

施設名	いつ	だれが	時間
青少年児童センター	幼児教室	子育てサロン等乳幼児保護者向けイベント	児童館職員 5~10分
若草なかよし館	幼児教室の時	児童館職員	10分~15分
おおケヤキ児童館	月3回くらい	児童(館)厚生員	15分くらい
八田児童館	毎月2~3回(幼児教室等で)	児童館職員	5分程度
白根児童館	毎月第2・第4金曜日	児童厚生委員	3~5分程度

問2. 図書室や図書コーナーはありますか。あれば、名称、広さ、蔵書数、児童への貸出等記入してください。

	名称	広さ	蔵書数	児童への貸出(ある・ない)
青少年児童センター	多目的スペース		約2,000冊	ない
若草なかよし館	図書コーナー	54㎡	1,800冊	ない
おおケヤキ児童館	図書室	約23㎡	約770冊	ない
八田児童館	親子図書室	48.80㎡	250冊	ない
白根児童館	図書コーナー	50㎡	534冊	ない

問3. 市立図書館をどのように活用していますか?

青少年児童センター	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館事業の参考資料を借りる ・大型絵本やパネルシアターなどをイベント時に借りる ・児童館で買う書籍の参考にする
若草なかよし館	図書の閲覧
おおケヤキ児童館	読み聞かせのための絵本、手袋人形などを借りる。絵本は児童館にもあるが、数に限りがあるため、読み聞かせ会に変化をもたらしたい時や、季節に因んだ作品を集めたい時等に、図書館を利用している。
八田児童館	月に一度、親子図書室の本の入れ替えに来て頂いている
白根児童館	月ごとに乳幼児向け・児童向けの絵本を100冊ずつ借りる

問4. 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

青少年児童センター	特に行っていない
若草なかよし館	
おおケヤキ児童館	特にありませんが、ポスターの掲示等はしている
八田児童館	今のところ特にありません
白根児童館	・春の子ども読書まつりを図書館と児童館で合同開催 ・児童館の祭りに図書館での読み聞かせをおこなった

問5. 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

青少年児童センター	青少年児童センターで行うイベントに出張読み聞かせをして欲しい
若草なかよし館	・図書館での活動の中で児童などへの読み聞かせ方などを聞いてみたい ・図書館と児童館との交流がもてたらいいと思う
おおケヤキ児童館	児童が児童館で過ごす時間は、平日一日平均1～2時間になる。この時間は、読書をするよい機会でもあるが、しかし、児童館にもよりますが、本館を利用する小学生はあまり読書をしません。児童館を利用する児童の多くは低中学年児であり、本館では伝記や長編小説など高学年向き、または絵本など幼児向けの本を中心に揃えていることが一因になっていると考えられる。年齢に合った本を揃え、提供していくことが大切になってくる。また、絵本から読み物への移行を手助けをしていくことも読書活動推進につながると思う。(ちなみに、本館を利用する幼児連れは保護者が幼児に絵本の読み聞かせをよくしている) まずは、図書館司書の知識を借り、図書館と協力して児童館内の読書環境を整えていければと思う。
八田児童館	子どもの感性も育まれ成長や体験の手助けになっていければ良いと思う
白根児童館	児童館は遊びを通して学んだり経験をしたりするところなので、図書コーナーはあるが、勉強をしたり、コミックを読んでいる児童が多い。図書館との共催で読書の楽しみを広げていきたい。

資料 1

子どもの読書活動に関するアンケート調査

(児童生徒用)

平成22年7月実施
南アルプス市子どもの読書活動推進協議会

このアンケート調査は、みなさんの日ごろの読書活動や読書環境を知るために、市内の小中学校の児童生徒のみなさんに、協力をお願いしています。
みなさんから得られた意見や要望は、今後の子ども読書活動をすすめるための貴重な資料として活用していきます。

小学校・中学校 年 男 ・ 女

- 問1. あなたは、本を読むことが好きですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。
- ア. 好き イ. どちらかといえば好き
ウ. どちらかといえばきらい エ. きらい
- 問2. あなたは、6月1ヶ月の間に、教科書、雑誌、マンガ以外の本を何冊読みましたか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。
- ア. 5冊以上 イ. 4冊 ウ. 3冊
エ. 2冊 オ. 1冊 カ. 読まなかった
- 問3. 問2で「読まなかった」を選んだ人に聞きます。それはどうしてですか。どちらかの記号に○をつけてください。
- ア. 読みたかったが読めなかった →問4へ
イ. 読みたいとおもわなかった →問5へ
- 問4. 問3で「ア. 読みたかったが読めなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。
- ア. 読みたい本がなかった
イ. 遊び、スポーツなどで時間がなかった
ウ. 勉強、塾、習い事などで時間がなかった

エ. なにを読んだらよいかわからなかった

オ. その他

(

)

問5. 問3で「イ. 読みたいとおもわなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

ア. ほかにしたいことがあった

イ. ふだんから本を読まない

ウ. 本を読むのがきらい

エ. その他

(

)

問6. あなたは、最近どんな本読んでいますか。(書名でも種類でもいいです。)

(

)

問7. あなたは、読みたい本をどのようにして用意しますか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

ア. 両親や家族に買ってもらう

イ. 学校の図書室で借りる

ウ. 市の図書館で借りる

エ. 友だちから借りる

オ. 友だちが読み終わったらもらう

カ. その他

(

)

問8. あなたは、読む本をどのようにして選んでいますか。あてはまる記号すべてに○をしてください。

ア. 自分で選ぶ

イ. 学校の先生にすすめられて

ウ. 親にすすめられて

エ. 友達にすすめられて

オ. その他

(

)

問9. あなたは、本を読んでもらうことが好きですか。(好きでしたか。)ひとつえらんで記号に○をつけてください。

ア. 好き

イ. どちらかといえば好き

ウ. どちらかといえばきらい

エ. きらい

カ. その他

(

)

問16. 市の図書館に行くのは何のためですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

ア. 本を借りるため

イ. 本を読むため

ウ. 調べ物をするため

エ. ビデオ、DVDを見るため

オ. インターネットを利用するため

カ. おはなし会などイベントに参加するため

キ. その他

(

)

問17. 市の図書館にこうしてほしいと思うことはなんですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

ア. 本をふやしてほしい

イ. 貸出期限を長くしてほしい

ウ. 本を読む席をふやしてほしい

エ. 家の近くに図書館がほしい

オ. その他

(

)

問18. あなたは、どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか。

ご協力ありがとうございました。

資料3

子どもの読書活動に関するアンケート調査

(小中学校用)

平成22年7月実施
南アルプス市子どもの読書活動推進協議会

このアンケート調査は、市内の読書施設の読書活動や読書環境を知るために、関係施設にご協力をお願いしています。
皆様から得られた情報や要望は、今後の子どもの読書活動を推進するための貴重な資料として活用していきます。司書教諭もしくは図書館主任がお答えください。

学校名 ()
記載者 ()

問1. 朝の読書タイムなど全校一斉の読書活動を実施していますか？実施していれば、いつ・時間はどのくらいですか。

ア. はい

いつ _____
時間 _____

イ. いいえ

問2. 全校一斉の読書活動を実施していない理由は何ですか。

問3. 学校では読み聞かせをしていますか？ 実施していれば、いつ・時間・対象学年・実施者数を教えてください。

問4. 図書館や校内などでは、読書をすすめるための広報活動を行っていますか？実施していれば、内容を教えてください。

問5. 学校では、市立図書館をどのように活用していますか？

問6. 日頃、学校図書館を利用してもらうためにどのような事を実施していますか？

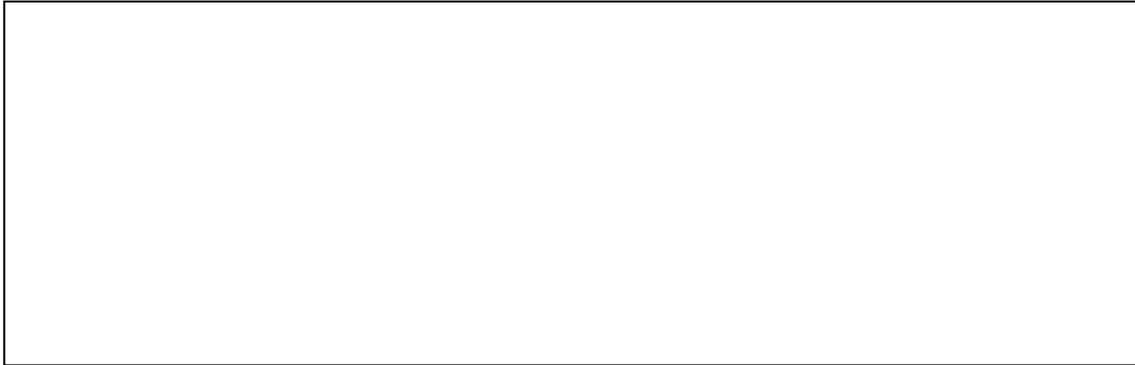
問7. 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

問8. 司書教諭の持時数は1週間にどれくらいですか？また、そのうち図書に関係する持時数も教えてください。（ ）で記入。
_____時間（ ）

問9. 司書教諭の現状と課題などを教えてください。

問10. 選書は、誰がどのように行っていますか？

問11. 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。



ご協力ありがとうございました。

資料4

子どもの読書活動に関するアンケート調査

(保育所・幼稚園・児童館用)

平成22年7月実施
南アルプス市子どもの読書活動推進協議会

このアンケート調査は、市内の読書施設の読書活動や読書環境を知るために、関係施設にご協力をお願いしています。
皆様から得られた情報や要望は、今後の子どもの読書活動を推進するための貴重な資料として活用していきます。

施設名 ()
記載者 ()

問1. お話の時間（読み聞かせ）を実施していますか？ 実施していれば、だれが・いつ・時間はどのくらいですか？

ア. はい
 いつ _____
 だれが _____
 時間 _____

イ. いいえ

問2. 図書室や図書コーナーはありますか。あれば、名称、広さ、蔵書数、児童への貸出等記入してください。

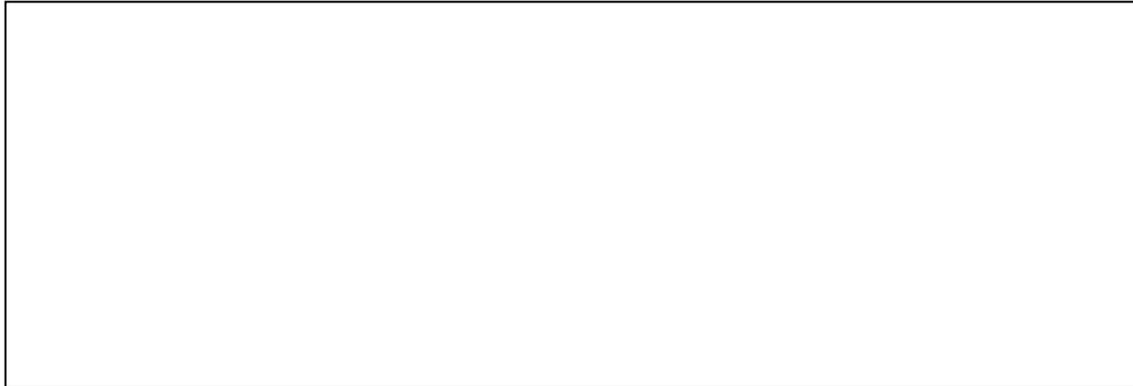
ア. ある 名称 _____
 広さ _____ m²
 蔵書数 _____ 冊
 児童への貸出 (ある ・ ない)

イ. ない

問3. 市立図書館をどのように活用していますか？

問4. 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

問5. 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。



ご協力ありがとうございました。

子どもの読書活動に関するアンケート

2010

編集者 南アルプス市立図書館
発行者 南アルプス市子どもの読書活動推進協議会
発行日 平成23年2月25日
住所 山梨県南アルプス市小笠原1060-1
電話 055-280-3300
FAX 055-284-7101

としかんは宇宙への旅



南アルプス市立図書館